

# まちづくり報告書

## (令和4年度分)

令和5年8月  
企画調整課

- ◆令和5年8月時点で取得できない指標は、空欄又は暫定値となっています。
- ◆「対基準値」「対前年度」「目標達成度」の各マークは、単に指標実績値のみによるのではなく、主管課が総合的に判断し選択している場合があります。

## 政策 01 快適に暮らせるまちづくり

施策 01	安全な水道水の安定供給	1
施策 02	汚水処理の推進	5
施策 03	秩序ある市域の整備	9
施策 04	公共交通の充実	13
施策 05	道路・水路の整備と保全	15

## 政策 02 環境が守られたまちづくり

施策 01	生活環境・自然環境の保全	17
-------	--------------	----

## 政策 03 活気に満ちたまちづくり

施策 01	農業の振興	21
施策 02	地域に活力をもたらす産業・雇用の創出	25
施策 03	観光の振興	29

## 政策 04 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

施策 01	子育て支援の充実	33
施策 02	健康づくりの推進	37
施策 03	高齢者福祉の充実	41
施策 04	障害者（児）福祉の充実	45
施策 05	セーフティネットの推進	47
施策 06	地域福祉の推進	49

## 政策 05 豊かな人間性と創造性を育むまちづくり

施策 01	学校教育の充実	53
施策 02	生涯学習・スポーツの推進	59
施策 03	男女共同参画社会の推進	63
施策 04	人権尊重と同和教育の推進	65

## 政策 06 安心して安全に暮らせるまちづくり

施策 01	防災・減災対策の推進	67
施策 02	安全な暮らしの推進	71
施策 03	消防・救急・救助体制の整備充実	75

## 政策 07 持続可能なまちづくり

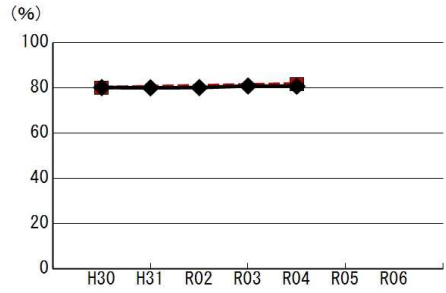


施策 01	市民協働の推進	79
施策 02	積極的な広報・広聴の展開	81
施策 03	持続可能な行政経営	83
施策 04	持続可能な財政運営	87
施策 05	市民から信頼される職員・組織づくり	91

**政策 01 快適に暮らせるまちづくり**

**施策 01 安全な水道水の安定供給**

あるべき姿

**施策の成果状況と評価**

指標	上水道普及率 (%)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
		【上下水道課】	80.0	80.7	80.6	81.6
評価	(状況) 微減となった。 (原因) 核家族化の推進等により1世帯あたりの人員(人口数/世帯数)の減少に伴い、給水人口が微減したため、上水道普及率としても微減となっている。					対前年度
						目標達成度
						 (横ばい)
						 (低)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 管網の整備

指標	給水戸数(累計) (戸)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
		【上下水道課】	16,331	16,631	16,909	16,937
評価	(状況) 前年度比278戸増である。 (原因) 給水区域内人口は2人減だが、給水戸数は278戸増である。人口に対しての戸数の増が大きいのは、核家族化の進行に伴う1世帯あたりの世帯人員(人口数/世帯数)の減少及び集合住宅の増加が主な原因と考えられる。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度
						■ (中)

## 基本事業01 管網の整備

指標	管整備延長(累計) (m)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
		【上下水道課】	253,243	255,985	258,903	253,900
評価	(状況) 前年度比2,918m増加した。 (原因) 管整備延長は順調に増加している。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度
						🏰 (達成)

## 基本事業01 管網の整備

指標	管路経年化率(老朽化率) (%)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
		【上下水道課】	34.67	34.20	34.38	34.90
評価	(状況) 微増となったがほぼ横ばいである。 (原因) 新たに法定耐用年数を経過した管路延長と、管路更新延長の伸び率がほぼ変わらなかったため、現状維持ができている。					対前年度
						☁️ (横ばい)
						目標達成度
						🏰 (達成)

## 基本事業02 浄水・配水施設の維持管理

指標	浄水・配水施設の維持管理上のトラブル数(件)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
		【上下水道課】	0	0	0	0
評価	(状況) 施設のトラブルはなかった。 (原因) 良好な維持管理を行い、安定供給ができています。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度
						🏰 (達成)

**基本事業02 浄水・配水施設の維持管理**

指標	有収率（％）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【上下水道課】	89.9	90.81	91.05	93.7	(横ばい)
評価	(状況) 前年度より若干向上している (原因) 配水管の老朽管更新事業を継続して推進し、漏水事故を未然に防止していく必要がある。					対前年度
						(横ばい)
						目標達成度
						(低)

**基本事業02 浄水・配水施設の維持管理**

指標	水質基準適合率（％）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【上下水道課】	100	100	100	100	(向上)
評価	(状況) 水質基準適合率は100%である。 (原因) 良好な水質管理ができています。					対前年度
						(向上)
						目標達成度
						(達成)

**基本事業03 健全な上水道経営の推進**

指標	経常収支比率（％）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【上下水道課】	133.5	126.5	108.71	135.8	(低下)
評価	(状況) 前年度比17.84ポイント減である。 (原因) 北牟田配水場更新事業による電気機械設備工事に伴い、施設の一部を福岡県南広域水道企業団へ譲渡したことで譲渡分(81,741千円)を計上し費用が増加した。					対前年度
						(低下)
						目標達成度
						(低)

**基本事業03 健全な上水道経営の推進**

指標	給水原価（円/m3）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【上下水道課】	133.1	141.73	169.64	135	(低下)
評価	(状況) 昨年度比27.91ポイント増である。 (原因) 北牟田配水場更新事業による電気機械設備工事に伴い、施設の一部を福岡県南広域水道企業団へ譲渡したことで譲渡分(81,741千円)を計上し費用が増加した。					対前年度
						(低下)
						目標達成度
						(低)



**政策 01 快適に暮らせるまちづくり**

**施策 02 汚水処理の推進**

あるべき姿

**施策の成果状況と評価**

指標	汚水処理率（％）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
		【上下水道課】	73.4	77.8	78.9	70.7
評価	(状況) 前年度比1.1ポイント増。 (原因) 下水道事業は、整備面積の増加に伴い下水道利用人口が812人増加し、また、合併浄化槽の設置により合併浄化槽使用人口が376人増加した。前期目標は達成しているが、後期目標に向け、引き続き市民に対し補助金制度を含めた情報発信に努める。					対前年度
						☀️ (向上)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 公共下水道の整備推進

指標	下水道整備進捗率 (%)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【上下水道課】	48.6	64.8	65.6	52.5	☀️ (向上)
評価	(状況) 前年度比0.8ポイント増 (原因) 今年度は長浜地区を6.5ha整備し、実整備面積は531.0haとなった。逆に全体計画については計画の見直しにより227.5ha減で809.1haとなったことで、65.6%と目標値より大幅に上昇している。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度
						🏰 (達成)

## 基本事業01 公共下水道の整備推進

指標	下水道接続率 (%)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【上下水道課】	75.0	74.7	78.1	74.0	☀️ (向上)
評価	(状況) 前年度比3.4ポイント増。 (原因) 処理区域内人口は200人増、下水道接続人口は812人増となり、処理区域内人口の増分に比べ下水道接続人口の増分が大きかったことで前年度比3.4ポイント増となった。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度
						🏰 (達成)

## 基本事業02 汚水処理施設の維持管理

指標	下水道施設の維持管理上のトラブル件数 (件)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【上下水道課】	0	0	0	0	☀️ (向上)
評価	(状況) 維持管理のトラブルは発生していない。 (原因) 計画的な維持管理により、トラブルは発生していない。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度
						🏰 (達成)

## 基本事業02 汚水処理施設の維持管理

指標	矢部川浄化センターの放流水の水質 [ BOD値 ] (mg/L)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【上下水道課】	0.7	0.7	0.7	8.0	☁️ (横ばい)
評価	(状況) 基準値を大幅に下回っている。 (原因) 矢部川浄化センターにおいて適正に汚水処理がなされており、放流水の水質は基準値8.0mg/Lを大幅に下回っている。					対前年度
						☁️ (横ばい)
						目標達成度
						🏰 (達成)



**基本事業03 合併処理浄化槽による汚水処理の推進**

指標	下水道供用開始区域外の浄化槽処理人口普及率(%)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【上下水道課】	57.4	63.8	65.4	50.0	☀ (向上)
評価	(状況)前年度比1.6ポイント増 (原因)新築の増加に伴い合併処理浄化槽設置個数も増加し、 浄化槽使用人口が増加している。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						☑ (達成)

**基本事業04 健全な下水道経営の推進**

指標	経費回収率(%)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【上下水道課】	65.5	69.9	78.2	55.2	(比較不可)
評価	(状況)前年度比8.3ポイント増 (原因)汚水処理費(長期前受金戻入分を控除後)が2700万円 減、下水道使用料が1,270万円増となったことが8.3ポイント増 につながった。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						☑ (達成)

**基本事業04 健全な下水道経営の推進**

指標	汚水処理原価(円/m3)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【上下水道課】	274.5	256.2	231.3	324.5	(比較不可)
評価	(状況)前年度比24.9円減。 (原因)汚水処理費(長期前受金戻入分を控除後)が2,700万円 減額、有収水量が55,579m3増加したことが要因。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						☑ (達成)



政策 01 快適に暮らせるまちづくり

施策 03 秩序ある市域の整備

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	住宅、商業、農地、工場、公園などが計画的に開発・配置されている (乱開発されていない)と思う市民の割合(%)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
		【都市対策課】	61.3	56.7	53.5	68.3
評価	(状況) 前年度比3.2ポイント減少し低下した。 (原因) 筑後、古川、水田、水洗校区のポイントが前年度から悪化して いる。現況の既成市街地の周辺に宅地化が進み、農地が転用さ れていることが要因と考えられる。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (中)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 計画的な土地利用と市街地整備の充実

指標	全建築申請中に占める都市計画用途地域内の申請割合（％）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【都市対策課】	38.4	28.4	30.3	41.0	☀️ (向上)
評価	申請件数は、筑後市が調査報告書を作成している件数。					対前年度
	(状況) 前年度比1.9ポイント増加し向上した。 (原因) 用途地域外の西牟田、松原、水田校区、前津、長浜地区の建築確認申請の件数は増加傾向にあるが、用途地域内も増加したためポイントが増加したものと考えられる。					☀️ (向上)
						目標達成度
						■ ■ ■ (中)

## 基本事業01 計画的な土地利用と市街地整備の充実

指標	都市計画用途地域内農地率（％）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【都市対策課】	16.6	15.7	15.2	15.0	☀️ (向上)
評価	前年度比0.5ポイント減少し向上した。					対前年度
	(状況) 前年度比0.5ポイント減少し向上した。 (原因) 目標値に近づいているが、用途地域内の土地において都市的利用の鈍化、都市化が飽和に近づいていることが考えられる。					☀️ (向上)
						目標達成度
						■ ■ ■ (高)

## 基本事業02 公園の整備・維持管理

指標	市民1人当たり公園面積（㎡/人）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【都市対策課】	16.2	16.3	16.3	16.5	☁️ (横ばい)
評価	R3と変化が無い。					対前年度
	(状況) R3と変化が無い。 (原因) 新規の公園整備は行われていない。					☁️ (横ばい)
						目標達成度
						■ ■ ■ (中)

## 基本事業02 公園の整備・維持管理

指標	公園の量・施設に満足している市民の割合（％）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【都市対策課】	77.1	83.3	84.4	85.0	☁️ (横ばい)
評価	R3の83.3%から1.1ポイント増加し、84.4%となった。					対前年度
	(状況) R3の83.3%から1.1ポイント増加し、84.4%となった。 (原因) 公園施設危険度判定の結果に基づき、遊具施設の修繕、及び公園長寿命化計画に基づく遊具の更新に取り組んだ結果だと考えられる。					☁️ (横ばい)
						目標達成度
						■ ■ ■ (中)

**基本事業02 公園の整備・維持管理**

指標	公園遊具施設の機能に関する総合判定結果が健全である割合(%)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値														
		【都市対策課】	56.7	25.4	29.3	45	☂ (低下)													
評価	(状況) R3の25.4%から3.9ポイント増加し、29.3%となった。 (原因) 年数経過とともに遊具が老朽化しているのに対して、点検結果に基づく修繕及び公園超寿命化計画に基づく施設の修繕を実施した結果だと思われる。	<table border="1"> <caption>実績値推移表</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>44.4</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>39.5</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>56.7</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>25.4</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>29.3</td> </tr> <tr> <td>目標値 (R04)</td> <td>45.0</td> </tr> </tbody> </table>				年度	実績値 (%)	H30	44.4	H31	39.5	R02	56.7	R03	25.4	R04	29.3	目標値 (R04)	45.0	対 前年度
						年度	実績値 (%)													
H30	44.4																			
H31	39.5																			
R02	56.7																			
R03	25.4																			
R04	29.3																			
目標値 (R04)	45.0																			
						☀ (向上) 目 標 達成度 ■■■ (中)														



政策 01 快適に暮らせるまちづくり

施策 04 公共交通の充実

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	鉄道に満足している市民の割合（％）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【都市対策課】	76.8	80	67.8	83.4	☂ (低下)
評価	(状況) 前年度比12.2ポイント減少し大きく低下した。 (原因) 行動様式がもどに戻りつつある中、JR鹿児島本線においてR4.9月にJR九州による大幅なダイヤ改正が行われたことが要因と考えられる。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (低)

指標	路線バス・コミュニティ自動車、タクシーに満足している市民の割合（％）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【都市対策課】	68.9	74.9	64.4	67.2	☂ (低下)
評価	(状況) 前年度比10.5ポイント減少し大きく低下した。 (原因) 行動様式がもどに戻りつつあるなか、R4.9月にJR鹿児島本線の大幅なダイヤ改正が行われ、バス、タクシーの接続にも影響しているものと考えられる。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (中)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 生活交通の充実

指標	市内移動の交通手段に困っている市民の割合（％）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【都市対策課】	16.1	13.6	19.2	16.5	☔ (低下)
評価	(状況) 前年度比5.6ポイント増加し低下した。 (原因) 運転免許自主返納の増加及び行動様式がもとに戻りつつある中、JR九州による大幅なダイヤ改正が行われ、市内移動の交通手段にも影響しているものと考えられる。					対前年度 ☔ (低下)
						目標達成度 ■ (低)

## 基本事業01 生活交通の充実

指標	市内を運行する路線バス及びコミュニティ自動車の路線数（本）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【都市対策課】	19	19	19	23	☀ (向上)
評価	(状況) 路線バスは現状維持、コミュニティ自動車も運行団体、路線数ともにR2から変更なし。（路線バス6本、コミュニティ自動車13本） (原因) R4末において路線数の変化はないが、R5年度から1団体が新規運行される。					対前年度 ☁ (横ばい)
						目標達成度 ■ (高)

## 基本事業02 鉄道利用環境の充実

指標	JR在来線3駅の1日乗降客数（人）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【都市対策課】	5,916	6,454	6,454	8,276	(比較不可)
評価	(状況) (原因) R4の実績値は例年8月下旬にJR九州より発表されるため、現時点では未取得。取得後の評価とする。（実績値はシステム上、前年度を一旦入力）					対前年度 (比較不可)
						目標達成度 ■ (低)

## 基本事業02 鉄道利用環境の充実

指標	JR新幹線筑後船小屋駅の1日乗降客数（人）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【都市対策課】	694	794	794	1,332	(比較不可)
評価	(状況) (原因) R4の実績値は例年8月下旬にJR九州より発表されるため、現時点では未取得。取得後の評価とする。（実績値はシステム上、前年度を一旦入力）					対前年度 (比較不可)
						目標達成度 ■ (低)



政策 01 快適に暮らせるまちづくり

施策 05 道路・水路の整備と保全

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	幹線道路に満足している市民の割合（％）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【道路課】	80.8	83.5	82.9	88.0	☔ (低下)
評価	(状況) 前年度83.5%から0.6ポイント減となり低下した。 (原因) 国道209号で歩道拡幅や交差点改良がなかなか進んでいない状況のため、渋滞が軽減されていないことで満足度が低下したと考えられる。					対前年度 ☔ (低下)
						目標達成度 ■ ■ ■ (低)

指標	生活道路に満足している市民の割合（％）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【道路課】	67.0	74.6	71.3	75.3	☔ (低下)
評価	(状況) 前年度74.6%から3.3ポイント減となり目標値から低下する数値となった。 (原因) 直営班での道路パトロールによる穴埋めや陥没などの初期対応を実施しているが、道路施設の老朽化により舗装状況が悪化していることで指標が低下したと考えられる。					対前年度 ☔ (低下)
						目標達成度 ■ ■ ■ (中)

指標	河川・水路の整備状況に満足している市民の割合（％）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【水路課】	72.9	77.3	82.1	80.0	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度77.3%から4.8ポイント増となり、改善した。 (原因) 緊急治水対策における河川改修や緊急浚渫など防災減災対策事業を重点的に推進しており、これらの対策により治水安全度が向上し、満足度の上昇に繋がったと考えられる。					対前年度 ☀ (向上)
						目標達成度 🏰 (達成)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 幹線道路の整備促進

指標	幹線道路整備延長(累計) (km)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【道路課】	4.9	6.1	7.4	7.4	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度1.2kmから1.3kmと増加し、年間目標(1.0km/年)を上回っており、目標値7.4kmを達成した。					対前年度
	(原因) 予定していた路線の整備が進み、完成した路線が多かったため目標値を達成した。					☀ (向上)
						目標達成度 🏰 (達成)

## 基本事業02 生活道路の整備推進と維持管理

指標	生活道路補修・改良延長(累計) (km)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【道路課】	34.5	42.6	53.4	41.4	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度8.1kmから2.7km増加の10.8kmとなり、向上した。目標値41.4を達成した。					対前年度
	(原因) 通学路対策において、国の補正予算により補助金が追加されたことにより事業が推進したため整備延長が増加した。					☀ (向上)
						目標達成度 🏰 (達成)

## 基本事業03 河川・水路の整備推進と維持管理

指標	河川・水路などの機能整備要望への対応率 (%)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【水路課】	72.5	75.3	78.5	75.0	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度から3.2ポイント向上し、目標値を達成した。					対前年度
	(原因) 緊急浚渫推進事業や治水対策事業を実施したなど地域の要望に応えた効果もあり、対応率の向上に繋がった。					☀ (向上)
						目標達成度 🏰 (達成)

## 基本事業03 河川・水路の整備推進と維持管理

指標	浸水・冠水件数 (件)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【水路課】	6	4	0	0	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度の4件に対してR4年度は0件となり、改善した。					対前年度
	(原因) 近年にみる特別警報級の豪雨が発生しなかったことに加え、河川やクレークの緊急浚渫事業、水路河川の緊急自然災害防止対策事業などの効果もあり、浸水被害の軽減が図られたものと考えられる。					☀ (向上)
						目標達成度 🏰 (達成)

政策 02 環境が守られたまちづくり

施策 01 生活環境・自然環境の保全

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	市民1人1日当たりの家庭系ごみの排出量(資源除く)(g)	実績値(R02)	実績値(R03)	実績値(R04)	目標値(R04)	対基準値
		【かんきょう課】	496.8	493.5	488.8	460.0
評価	(状況) 微減している。 (原因) コロナ禍の生活で粗大ごみなどの片付けごみが増え令和2年度一時的にごみ量が急増した。R3より少しづつ普段の生活に戻りごみ量も減少傾向にある。地域で排出される可燃ごみ量は横ばいだが、粗大ごみ、不燃ごみは減少している。					対前年度
		☀ (向上)	目標達成度			
						☐☐☐ (低)

指標	生活環境に関する苦情解決率(過去3年平均)(%)	実績値(R02)	実績値(R03)	実績値(R04)	目標値(R04)	対基準値
		【かんきょう課】	95.2	93.6	89.0	95.0
評価	(状況) R02 126件/135件 93.3% R03 98件/109件 89.9% R04 93件/113件 83.0% 計 317件/357件 89.0% (原因) 雑草苦情の発生元へ連絡しても高齢や遠方居住により管理者等が対応できず、解決率の3年平均では低下している。					対前年度
		☂ (低下)	目標達成度			
						☐☐☐ (高)

指標	市内の自然環境に満足している市民の割合(%)	実績値(R02)	実績値(R03)	実績値(R04)	目標値(R04)	対基準値
		【かんきょう課】	89.0	91.1	90.7	93.0
評価	(状況) 微減 ( 33+ 86+ 292 ) / 453 = 90.7% (原因) 僅かに減少。水田校区における「ふつつ」以上の割合(87.5%)が他校区と比較して低い。					対前年度
		☁ (横ばい)	目標達成度			
						☐☐☐ (高)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進

指標	減量化に関する実践項目数(7項目中)(項目)	実績値(R02)	実績値(R03)	実績値(R04)	目標値(R04)	対基準値
	【かんきょう課】	2.8	2.9	2.8	3.0	☀️ (向上)
評価	(状況) 1315項目/477 = 2.8 (原因) 「料理の食べ残しをしない」、「ごみを出す前に水切りをしている」の数値が下がったことが主な原因と推測される。					対前年度 ☁️ (横ばい)
						目標達成度 ■■■ (高)

## 基本事業01 3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進

指標	リユースを意識して行動している市民の割合(%)	実績値(R02)	実績値(R03)	実績値(R04)	目標値(R04)	対基準値
	【かんきょう課】	28.7	32.4	35.85	45.0	☔️ (低下)
評価	(状況) 171人/477人 = 35.85% (原因) 市民アンケート項目のうち、リサイクルショップの利用(買取も含む)が21.7% 25.4%と上昇。この他中古品等を譲渡、又は譲り受ける人も含めリユース品を使用する人が昨年より増加。					対前年度 ☀️ (向上)
						目標達成度 ■■ (中)

## 基本事業01 3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進

指標	資源化(リサイクル)率(%)	実績値(R02)	実績値(R03)	実績値(R04)	目標値(R04)	対基準値
	【かんきょう課】	14.2	12.24	11.92	22.0	☔️ (低下)
評価	(状況) 低下している。 (原因) R3に引き続き古布の地域回収中止に加え、缶の地域排出量も低下。民間事業者の資源回収BOXも増え市が把握できない資源物も多く、資源化率に計上されない状況がある。					対前年度 ☔️ (低下)
						目標達成度 ■■ (低)

## 基本事業02 環境にやさしいライフスタイルの実践

指標	地球温暖化防止に役立つ生活を実践している市民の割合(%)	実績値(R02)	実績値(R03)	実績値(R04)	目標値(R04)	対基準値
	【かんきょう課】	34.2	42.8	39.4	40.0	☀️ (向上)
評価	(状況) 187人/477人 = 39.4% 昨年度より3.4%低下 (原因) 割合が低下した上位3項目: コンセントを抜いたり、主電源を切ったりしている(4%)、冷房28、暖房は20に設定(3%)、待機電力の削減を意識し、コンセントを抜いたり、主電源を切ったりしている(1%)					対前年度 ☔️ (低下)
						目標達成度 ■■■ (高)

**基本事業03 生活環境の改善**

指標	空地に関する苦情解決率（過去3年平均）（％）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【かんきょう課】	93.5	85.8	76.0	95.0	☂ (低下)
評価	(状況)R02 36件 / 41件 87.8% R03 20件 / 30件 66.7% R04 42件 / 58件 72.4% 計 98件 / 129件 76.0%					対前年度
	(原因)R4年度は低下した。対応依頼通知を行っても、高齢や遠方居住により対応されない場合もあり、すぐに解決とならないケースが多くなってきた。					☂ (低下)
						目標達成度
						■ ■ ■ (低)

**基本事業03 生活環境の改善**

指標	ペット、野焼、騒音、悪臭等に関する苦情件数（件）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【かんきょう課】	93	93	55	25	☂ (低下)
評価	(状況)ペット 3件 悪臭 3件 野焼き 27件 水質 7件 騒音 8件 その他 7件 合計 55件					対前年度
	(原因)農地周辺の宅地化が進み、農業による野焼きの通報は相変わらず多いが、一般家庭の焼却による苦情対応も多い。全体的には対応件数が少なくなった。					☀ (向上)
						目標達成度
						■ ■ ■ (低)

**基本事業03 生活環境の改善**

指標	一般廃棄物が不法投棄されている場所の数（箇所）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【かんきょう課】	32	11	22	32	☀ (向上)
評価	(状況)前年と比較して件数は倍増した。 (原因)コロナにより不法投棄が多発する河川敷き等の清掃作業が自粛され不法投棄物が発見されにくく令和3年度は一時的に減少したが、地域の作業も再開され通報件数が増えている。					対前年度
						☂ (低下)
						目標達成度
						🏰 (達成)



政策 03 活気に満ちたまちづくり

施策 01 農業の振興

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	農業所得者の総所得金額（百万円）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値																							
		【農政課】	944	939	1,073	900	☀️ (向上)																						
評価	R04実績値は、R03の税務情報	(百万円)				☀️ (向上)																							
	(状況) 令和3年分の総所得金額が前年と比較して1億3,400万程度増加している。 (原因) 前年度に引き続き、燃料や飼肥料・資機材等の価格が上昇傾向だったが、JA部会員の作物販売額は果樹を中心(特にブドウが1億円以上)に伸びており、農業所得の増加につながっている。	<table border="1"> <caption>農業所得者の総所得金額 (百万円)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>850</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>850</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>944</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>939</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>1,073</td> <td>900</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>				年度	実績値	目標値	H30	850	-	H31	850	-	R02	944	-	R03	939	-	R04	1,073	900	R05	-	-	R06	-	-
年度	実績値	目標値																											
H30	850	-																											
H31	850	-																											
R02	944	-																											
R03	939	-																											
R04	1,073	900																											
R05	-	-																											
R06	-	-																											
						🏰 (達成)																							

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 施設園芸等農業の展開

指標	園芸、特産作物の栽培面積 (ha)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【農政課】	193.5	190.1	187.5	190.5	☔ (低下)
評価	(状況) 前年比で1.4% (2.6ha) 減少している。 (原因) 花きの栽培面積減少が主な原因である。 トマト・花き・梨からブドウ・ナス・イチゴへの作物転換が進展しているものの、全体の栽培面積は減少傾向となっている。					対前年度
						☔ (低下)
						目標達成度
						■ (低)

## 基本事業01 施設園芸等農業の展開

指標	園芸、特産作物の販売額 (百万円)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【農政課】	22,948	23,715	23,926	25,000	☔ (低下)
評価	(状況) 前年比0.9% (2億1千万) 程度販売額が増加。 (原因) コロナ禍の巣ごもり需要以降、継続して果樹販売が堅調であり、全体としては前年を上回る販売額となっている。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						■■ (高)

## 基本事業02 生産体制の維持

指標	担い手が経営している市内農地の集積率 (%)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【農政課】	74.7	74.6	75.2	74.0	☀ (向上)
評価	(状況) 前年比0.6% (約3.4ha) 増加している。 (原因) 認定新規就農者から認定農業者への移行を要因に認定農業者が増加したこと、さらに認定農業者(農事組合法人含む)への農地集積が進展したことにより集積率が増加したものの。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						🏰 (達成)

## 基本事業02 生産体制の維持

指標	新規就農者数 (人)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【農政課】	18	27	35	19	☀ (向上)
評価	(状況) 令和4年度8人の新規就農者を確保できた。 (原因) JA就農支援センター及び先進農家の協力など就農希望者を受け入れる体制が確立されているほか、親元就農も多くなっている。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						🏰 (達成)



基本事業03 農用地と営農環境の保全

指標	遊休農地面積 (ha)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
		【農業委員会事務局】	14.3	15.1	14.7	18.3
評価	(状況) R3の15.1haより減少した。 (原因) 遊休農地の転用による減少、営農再開や適正管理による減少分が、新規発生面積を上回ったため。 ・ 解消面積: 15,626㎡ ・ 新規発生面積: 11,617㎡ 差し引き4,009㎡の解消					対前年度
						目標達成度
						☀ (向上)
						🏰 (達成)



政策 03 活気に満ちたまちづくり

施策 02 地域に活力をもたらす産業・雇用の創出

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	市内事業所数（事業所）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
		【商工観光課】	2,853	2,873	2,922	2,870
評価	(状況) 昨年まで微増だったが、法人均等割納税義務者の法人が17社、小規模個人事業者が32事業者増となった。 (原因) 停滞していた動向が、中小企業の売上高は感染症流行前の水準に戻りつつあり、国内投資額が増加に転じるなど、拡大、回復基調に転じてきている。	(事業所) 				☀️ (向上)
		☀️ (向上)	☀️ (向上)	☀️ (向上)	☀️ (向上)	☀️ (向上)

指標	市内従業員数（人）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
		【商工観光課】	16,678	16,856	16,853	16,000
評価	(状況) 前年度比では横ばい状態で、目標値は達成となった。 (原因) 県南部地域の有効求人倍率はR5.3月時点で1.41まで回復している状況で、事業所数も49社増加しているが、従業員数は横ばいとなった。事業所が求人を出しても就業者が集まらない状況にある。	(人) 				☀️ (向上)
		☁️ (横ばい)	☁️ (横ばい)	☁️ (横ばい)	☁️ (横ばい)	☁️ (横ばい)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 企業誘致・留置の推進

指標	企業誘致件数(累計) (事業所)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【商工観光課】	0	1	4	5	☀️ (向上)
評価	(状況) 企業誘致件数は目標値がR2~R4の累計となっており、R4は3件であり累計では4件である。 (原因) R4は資材の高騰等の影響もあり目標値に達しなかったと考えられるが、帝国データバンクによると、資材不足が解消され設備増強に向けて動き始めている企業が増えつつあるとある。					対前年度 ☀️ (向上) 目標達成度 ■■ (中)

## 基本事業01 企業誘致・留置の推進

指標	資本金1億円を超える事業所数 (事業所)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【商工観光課】	140	140	130	138	☔️ (低下)
評価	(状況) 事業所数はほぼ横ばい状態にある。 (原因) 資本金1億円を超える事業所も、新型コロナや物価高騰、人材不足などの影響により損失補填や事業撤退などが生じたものと考えられる。					対前年度 ☔️ (低下) 目標達成度 ■■ (高)


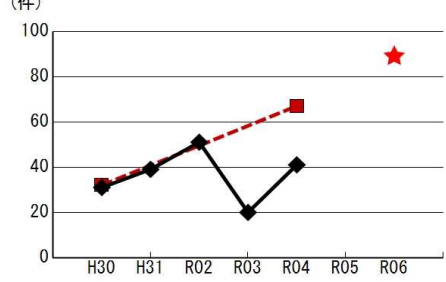


## 基本事業02 事業所の経営安定化と市内購買力強化

指標	黒字化している事業所割合(法人税割を納めている事業所の割合) (%)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【商工観光課】	39	41.6	44.9	50	☔️ (低下)
評価	(状況) 前年度より向上はしているが、目標値までは達成できていない。 (原因) コロナ禍の中、個人消費や生産については持ち直しつつあるが、原材料費等高騰下における価格転嫁は緩やかで、人件費や設備投資などは中小企業者の負担となっていると考えられる。					対前年度 ☁️ (横ばい) 目標達成度 ■■ (高)


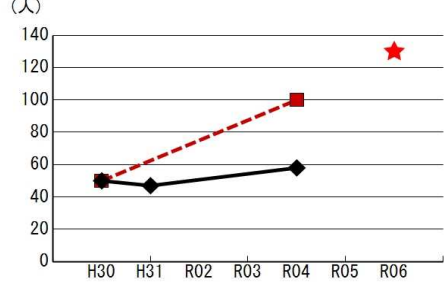

## 基本事業02 事業所の経営安定化と市内購買力強化

指標	日用品を市内で買っている市民の割合 (%)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【商工観光課】	83.4	80.1	80.5	83.2	☔️ (低下)
評価	(状況) 昨年度と状況は変わらず、市内で購入している人は9割と多いが、地元商店街では1割ほどに留まっている。 (原因) 価格や品ぞろえ、営業時間などで有利なスーパーマーケットに加え、ドラッグストアも増加したことから、このような傾向が続くと思われる。					対前年度 ☁️ (横ばい) 目標達成度 ■■ (高)

**基本事業03 創業・事業開発への支援**

指標	創業・新規事業進出件数（累計）（件）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【商工観光課】	51	20	41	67	
評価	3年間の累積	(件)				(横ばい)
	<p>(状況) コロナにより停滞していたが、R4は一定の増加がみられた。しかし、目標値を下回った。                  (原因) コロナや物価高騰により見合わせていた創業が動き始めたものと思われ、徐々に創業機運は高まっていると考えられる。                  R2: 11件 R3: 9件 R4: 21件</p>					対前年度  (向上) 目標達成度  (中)

**基本事業04 雇用の安定と確保**

指標	合同会社説明会・面談会来場者数（人）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【商工観光課】	-	-	58	100	
評価		(人)				(横ばい)
	<p>(状況) 2年間開催していなかった自治体合同会社説明会及び、労働者支援事務所と共催で労働相談会を開催した。                  (原因) 企業からの求人は一定数あるものの、求職者とアンマッチにより来場者数は基準値には達したが目標値には届かなかった。今後も企業の人材不足は進むと思われる。</p>					対前年度 (比較不可) 目標達成度  (低)



政策 03 活気に満ちたまちづくり

施策 03 観光の振興

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	観光入込客数（千人）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
		【商工観光課】	520	520	742	1,150
評価	(状況) 昨年度より増加したものの、基準値、目標値ともに下回った。 (原因) コロナで中止していた行事、イベントの再開や、外出制限の解除などにより前年度より増加した。しかし、縮小・中止のイベントも多く、回復には時間を要すると思われる。	(千人) 				☀ (向上)
						■ 目標達成度

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 魅力ある観光事業の推進

指標	市内観光イベントの来場者数（百人）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【商工観光課】	0	9	330	1,285	☔ (低下)
評価	(状況) コロナですべて中止していたイベントを一部再開した、330百人の来場者があった (原因) まかない飯GPの中止や、ちっこ祭の縮小開催（花火大会のみ）が要因で、今後のイベントを再考する必要がある。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						■ (低)

## 基本事業02 ファーム本拠地と筑後船小屋駅を核とした広域連携による観光推進

指標	HAWKSベースボールパーク筑後の平均観戦者数（人）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【商工観光課】	968	1,192	1,519	2,200	☔ (低下)
評価	(状況) 目標値に対する達成率は前年から少し回復した。（R3: 54.18%、R4: 69.05%） (原因) 今シーズンよりコロナ感染症対策に係る入場制限がなくなり、対策を取りつつの通常興行だったことから、一定の回復となった。しかし終盤まで客足は鈍く、大幅な回復には至らなかった。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						■ (中)

## 基本事業02 ファーム本拠地と筑後船小屋駅を核とした広域連携による観光推進

指標	筑後船小屋駅周辺施設の入込客数（百人）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【商工観光課】	3,641	3,761	5,155	7,205	☔ (低下)
評価	(状況) コロナ前までの数には戻ってないが、入込客数は回復傾向にある (原因) 若干コロナも落ち着き、タマスタへの来場者の回復や恋のくに花火大会が3年ぶりに開催できたことなど、徐々に外出意欲が高まっている。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						■ (中)

## 基本事業03 観光情報の発信

指標	観光プロモーションによるメディア露出件数（件）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【商工観光課】	407	372	266	500	☔ (低下)
評価	(状況) 前年度より106件低下した (原因) 令和3年度と比べると、「ふるさとWish」等の集中プロモーションがなかったことが主な要因と考える。					対前年度
						☔ (低下)
						目標達成度
						■ (中)



基本事業03 観光情報の発信

指標	観光意欲度の県内順位（位）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
		【商工観光課】	12	10	14	10
評価	(状況) 前年から4つ順位が下がった (10位 14位) (原因) 令和3年までは人気漫画の聖地としてクローズアップされたが、令和4年はブームが一定落ち着いたことが要因と思われる。	(位) 				対前年度
						☂ (低下)
						目標達成度
						■ ■ ■ (中)



政策 04 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

施策 01 子育て支援の充実

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	子育てしやすい環境が整っていると思う保護者の割合 (%)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【児童・保育課】	73.5	77.5	68.2	85.0	☂ (低下)
評価	(状況) 前年度より9.3ポイント低下 コロナ禍前 (H30) より維持していた70%以上を下回る。 (原因) コロナ対策、または物価上昇対策として子育て世帯へ行われた様々な給付事業が落ち着いたことや先進的な取り組みを行っている他自治体との比較により、指標の数値が低下した可能性がある。					対前年度 ☂ (低下) 目標達成度 ■■■ (低)

指標	この地域で子育てをしたいと感じる乳幼児の保護者の割合 (%)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【こども家庭サポートセンター】	95.1	96.1	95.5	97.0	☀ (向上)
評価	(状況) 前年比 - 0.6ポイントであるが、95%以上の高い水準で推移していると評価する。 (原因) 待機児童の解消や近くに広域公園があることや大きな災害がないこと、不便さを感じない生活環境なども影響していると考え。					対前年度 ☁ (横ばい) 目標達成度 ■■■ (高)

指標	合計特殊出生率 (-)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【企画調整課】	1.60	1.52	1.52	1.80	(---)
評価	(状況) (原因) 令和4年度の値は令和5年10月頃取得のため、取り敢えず前年度と同じ値を入力しています。					対前年度 (---) 目標達成度 (---)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 子どもの人権の尊重

指標	児童虐待件数 [新規実人数] (件)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
		【こども家庭サポートセンター】	11	5	11	
評価	(状況) 児童相談所に一時保護されたり、施設入所となった児童は前年比6人増で11人となった。世帯数は1増で6世帯であった。 (原因) 人数増はきょうだいの多い世帯が対象となったことが影響している。					対前年度
		(比較不可)	目標達成度	■ ■ ■	(中)	

## 基本事業02 ひとり親家庭等の自立支援の推進

指標	ひとり親家庭等の自立支援推進事業の利用者数 (人)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
		【こども家庭サポートセンター】	16	7	3	19
評価	(状況) 前年度7件から4件減少し新規利用者3件となった。 (原因) 前年度に新規利用がなく継続利用者がいなかった。取得できる資格が希望とマッチしなかったり、検討したが仕事と修業の両立が困難など受講開始まで至らなかったケースもある。					対前年度
		(比較不可)	目標達成度	■ ■ ■	(中)	

## 基本事業03 保育サービスの充実・子どもの居場所づくり

指標	保育所等の待機児童数 (4月) (人)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
		【児童・保育課】	0	0	0	0
評価	(状況) 待機児童ゼロを維持した。 (原因) 筑後保育所の建替えに伴う定員増 (30名) により、前年度から更に利用定員を増やすことができた。					対前年度
		☀ (向上)	目標達成度	☀ (向上)	🏰 (達成)	

## 基本事業03 保育サービスの充実・子どもの居場所づくり

指標	保育所等の待機児童数 (10月) (人)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
		【児童・保育課】	0	0	0	0
評価	(状況) 待機児童ゼロを維持した。 (原因) 筑後保育所の建替えに伴う定員増 (30名) により、前年度から更に利用定員を増やすことができた。					対前年度
		☀ (向上)	目標達成度	☀ (向上)	🏰 (達成)	

**基本事業03 保育サービスの充実・子どもの居場所づくり**

指標	学童保育所の待機児童数（人）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【児童・保育課】	20	0	0	0	☀️ (向上)
評価	(状況) 待機児童ゼロを継続した。 (原因) 申込み児童数は増えたが、筑後保育所併設の筑後学童を3クラス運営としたことと巡回型学童を1クラス増したことにより、受け皿を確保できた。					対前年度 ☀️ (向上)
						目標達成度 🏠 (達成)

**基本事業03 保育サービスの充実・子どもの居場所づくり**

指標	一時的な保育ニーズに対応できなかった件数（件）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【児童・保育課】	0	0	0	0	(比較不可)
評価	(状況) 引き続き市全体として対応可能な体制を維持することができた。					対前年度 ☀️ (向上)
						目標達成度 🏠 (達成)

**基本事業04 子育て不安の軽減**

指標	子どもの発達過程を知っている保護者の割合（％）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【こども家庭サポートセンター】	90.18	88.23	89.03	93.0	☁️ (横ばい)
評価	(状況) 前年度より0.8ポイント上昇。90%前後の高い割合を推移しており、順調と評価する。 (原因) 乳幼児健診や乳児訪問の際、個別に心配や疑問に答えたり、発達段階の特徴や接し方を伝えている。					対前年度 ☁️ (横ばい)
						目標達成度 ☁️ (横ばい)

**基本事業04 子育て不安の軽減**

指標	育てにくさを感じた時に対処できる保護者の割合（％）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【こども家庭サポートセンター】	89.6	90.4	89.27	90.0	☁️ (横ばい)
評価	(状況) 前年度より約1.1ポイント低下。90%前後の水準を維持していて、順調と評価する。 (原因) 健診や家庭訪問の際に、育てにくさを感じた時の対処法がわからないという保護者にはケースに応じて具体的な対処法などを伝え、フォローしている。					対前年度 ☁️ (横ばい)
						目標達成度 ☁️ (横ばい)

**基本事業04 子育て不安の軽減**

指標	保護者一人当たりの、子育てについて相談できる相手、または相談できる機関の数（配偶者や親族を除く）（人（機関）） 【こども家庭サポートセンター】	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
		1.57	1.39	1.41	1.7	(横ばい)
評価	(状況) ほぼ横ばいで推移している。 (原因) コロナ禍の長期化により外出や人との交流を自粛したり里帰り出産を中止したりする傾向にあったことが影響したと考える。					対前年度
						(横ばい)
						目標達成度
						(低)

**基本事業05 子どもの健やかな成長の支援**

指標	低出生体重児の出生率（％） 【こども家庭サポートセンター】	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
		8.3	8.9	10.2	10.0	(向上)
評価	(状況) 1.3ポイント上昇した。 (原因) 多胎児の4か月健診受診者が令和3年度は1組が令和4年度は6組と増加したことが一因と考える。					対前年度
						(低下)
						目標達成度
						(中)

**基本事業05 子どもの健やかな成長の支援**

指標	乳幼児健診で要精密検査となった者の受診率（％） 【こども家庭サポートセンター】	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
		93.3	88.0	81.3	90.0	(低下)
評価	(状況) 6.7ポイント減少した。 (原因) 令和4年度より3歳児健診において眼科屈折検査器を導入し精密検査対象者が増加した。精密検査未受診の9名は屈折検査で要検査となった。市内眼科は3カ所と少ないため予約が取りにくく新年度になってから受診されたケースもある。					対前年度
						(低下)
						目標達成度
						(低)

**基本事業06 家族形成の支援**

指標	若年層有配偶者率（％） 【企画調整課】	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
		51.5	51.0	50.3	51.0	(低下)
評価	(状況) 前年度から0.7ポイント低下している。 (原因) コロナ禍による出会いの場の減少や経済的不安による結婚控えの増加があったと考えられる。					対前年度
						(低下)
						目標達成度
						(中)

政策 04 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

施策 02 健康づくりの推進

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	15歳から64歳までの死亡者数（人口10万人当たり）（人）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【健康づくり課】	104.8	154.8	154.4	160.0	☀ (向上)
評価	(状況) 死亡数は前年度と同数の44人。R3年以前の比較となるが、国平均より低い値で推移。(参考 国R3 169.6 R2 168.5 R1 169.4) 国は暦年 (原因) 脳血管疾患、心疾患は減少したものの、呼吸器疾患、自殺が増加。全国的にも新型コロナ、循環器系や呼吸器系の疾患、がん、自殺が増加。					対 前年度  ☁ (横ばい)  目 標 達成度  🏠 (達成)

指標	75歳未満の三大死因死亡者数（人口10万人当たり）（人）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【健康づくり課】	129.1	165.4	156.7	150.0	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度より死亡数が4人減少。R3年以前の比較となるが、国より低い値で推移している。(参考 国R3 190.6 R2 186.5) 国は暦年 (原因) がん+1人、脳血管疾患 2人、心臓疾患が 3人。全国的にもがん死亡は増加しているが、がん検診受診率低下の影響を判断することは困難。					対 前年度  ☀ (向上)  目 標 達成度  ■ (中)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 生活習慣の改善

指標	1人当たりの健康づくり取り組み項目数(11項目中)(項目)	実績値(R02)	実績値(R03)	実績値(R04)	目標値(R04)	対基準値
		【健康づくり課】	4.4	4.1	4.1	5.8
評価	(状況)実績値は昨年度と同じだが、塩分・間食を控える(各+2p、+3p)などが伸びている一方で、適正な睡眠時間の確保、悩みやストレスをためないが低下(各6p、3p)(原因)コロナの影響による外出自粛、活動の場や啓発の場の減少が原因の一つと考える。					対前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (低)

## 基本事業01 生活習慣の改善

指標	糖尿病性腎症による新規透析導入者数(人口10万人当たり)(人)	実績値(R02)	実績値(R03)	実績値(R04)	目標値(R04)	対基準値
		【健康づくり課】	10.14	12.21	8.13	6.1
評価	(状況)R3の新規導入者(実人数)は6人、R4は4人であった。国(R3 12.4 R2 12.5 R1 12.7)と比較すると、良好な値で低下。国は暦年(原因)この数年は、振れ幅はあるも減少傾向にある。コロナの影響はみられないが、引き続き注視する。					対前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (中)

## 基本事業02 病気の早期発見・早期治療の推進

指標	特定健康診査受診率(%)	実績値(R02)	実績値(R03)	実績値(R04)	目標値(R04)	対基準値
		【健康づくり課】	38.7	38.3	40.1	56.0
評価	(状況)特定健診受診率は昨年度を若干上回る値で推移しているが、コロナ前までは回復していない。(R5.10月確定)(原因)特定健診実施期間に感染が拡大(第7波)した影響で受診者が伸びなかった。R3年度と同様、1月に集団検診を2回追加し、確定値は前年度と同じ又はを若干上回る見込み。					対前年度
						(---)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (低)

## 基本事業02 病気の早期発見・早期治療の推進

指標	1年に1回がん検診を受けている市民の割合(%)	実績値(R02)	実績値(R03)	実績値(R04)	目標値(R04)	対基準値
		【健康づくり課】	38.9	37.5	38.7	50.0
評価	(状況)市民アンケートでは昨年より1.2p向上している。(原因)男女別でみると、前年度に比べ男性が2.3p向上、女性は0.7p向上と、男性が大きく向上したが、まだ男性は3割程度である。年代別では20~39歳が6.6p向上しているが、21.9%と低い状況であり、全体の受診率低下の原因と思われる。					対前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (中)



**基本事業03 こころの健康づくりの推進**

指標	自殺者数（人口10万人当たり）（人）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【健康づくり課】	22.2	8.1	14.2	10.0	☔ (低下)
評価	(状況) 当市の自殺者数は、昨年の4人から7人に増え、自殺死亡率は14.2(+6.1)となっているが、国17.5(+1.0)、県17.1(-0.7)を下回っている。 (原因) 昨年に比べ、10代：1人、20代：2人と若年の自殺者が増加。 全国的にも、20歳未満の自殺者数がH15年以降で最多となっている。					対 前年度
						☔ (低下)
						目 標 達 成 度
						■ (低)

**基本事業04 地域医療体制の充実**

指標	かかりつけ医を持っている市民の割合（％）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【健康づくり課】	76.3	76.9	70.4	85.0	☔ (低下)
評価	(状況) 前年度より6.5ポイント低下し、基準年度の値を3年連続で下回っている。(R4年度500人中352人、R3年度477人中367人) (原因) 原因の特定は困難であるが、コロナ感染拡大に加え、回答者が筑後小、羽犬塚小校区に集中し、居住年数10年未満の者の割合が増加していることの影響も考えられる。					対 前年度
						☔ (低下)
						目 標 達 成 度
						■ (低)

**基本事業04 地域医療体制の充実**

指標	筑後市立病院における救急車受入割合（％）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【健康づくり課】	95.8	95.6	88.4	97.0	☔ (低下)
評価	(状況) コロナ感染が拡大した8月、12月～2月が70％～80％台と大きく低下。 (原因) 救急搬送患者数は1,539人で前年度より108人増。この4年で最多であるにも関わらず、コロナ禍で救急受入要請が増え、応需率が低下した。 稼働病床の制限や職員の感染等によるマンパワー不足も影響したと考えられる。					対 前年度
						☔ (低下)
						目 標 達 成 度
						■ (低)

**基本事業05 国民健康保険財政の健全運営**

指標	国民健康保険1人当たり医療費（円）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【市民課】	412,725	443,447	452,405		☁ (横ばい)
評価	(状況) R4(見込)は、目標設定(461,026円)上の範囲内で推移している。 (原因) 対前年度比はR3が+7.44%、R4が+2.02%増加。コロナ感染者の急増によりコロナ禍前より全国的に増加傾向。外的要因の影響下で、医療費適正化事業の成果を評価することは困難である。					対 前年度
						☔ (低下)
						目 標 達 成 度
						■ (高)



政策 04 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

施策 03 高齢者福祉の充実

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	要介護等認定を受けていない65～74歳の市民の割合（％）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【高齢者支援課】	96.6	96.7	96.5	97.0	☂ (低下)
評価	(状況) 昨年度より0.2ポイント低下し、基準値と比較し0.4ポイント低くなった。目標値を0.5ポイント下回った。 (原因) 65歳から74歳の人口が減少したが、比較的介護度の低い(要支援1, 2, 要介護1)認定者数、割合が増加した(昨年度比+8人、+0.2ポイント)。コロナ禍による利用の進行が懸念される。					対 前年度
						☁ (横ばい)
目 標 達 成 度						
■ ■ ■ (低)						

指標	要介護等認定を受けていない75～84歳の市民の割合（％）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【高齢者支援課】	84.8	84.6	85.0	83.8	☀ (向上)
評価	(状況) 昨年度より0.4ポイント向上、基準値と比較し、1.1ポイント高くなった。目標値を1.2ポイント上回った。 (原因) 75歳から84歳の人口増と比較し、認定者数の伸びが少なく、昨年度と比較し認定率は低くなっている。					対 前年度
						☀ (向上)
目 標 達 成 度						
☀ (達成)						

指標	適切な介護サービスが受けられなかった件数（件）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【高齢者支援課】	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	(状況) 介護事業所に対する文書による指導はなかった。					対 前年度
						☀ (向上)
目 標 達 成 度						
☀ (達成)						

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 生きがいづくりと介護予防の推進

指標	新規認定者の平均年齢 (歳)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
		【高齢者支援課】	81.8	82.4	82.2	82.2
評価	(状況) 昨年度と比較し、0.2ポイント低下、基準値と比較し0.4ポイント高くなった。目標値と同値となった。 (原因) 新規認定者のうち75歳以上の被保険者の割合が減少した。(昨年度比 2ポイント) 特に80代の割合が減少しており、平均年齢が若干下がっている。					対 前年度
						☁️ (横ばい)
						☀️ (達成)

## 基本事業01 生きがいづくりと介護予防の推進

指標	要介護等状態区分が維持又は改善した者の割合(%)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
		【高齢者支援課】	80.5	78.1	78.0	78.0
評価	(状況) 前年度と比較し0.1ポイント低下、基準値より0.4ポイント高くなり、目標値と同率となった。 (原因) 改善の割合は年々減少、維持の割合は増加傾向にある。新型コロナウイルス感染症に伴う有効期間延長などもあり、維持の割合が増えている。					対 前年度
						☁️ (横ばい)
						☀️ (達成)

## 基本事業01 生きがいづくりと介護予防の推進

指標	65歳以上の要介護等認定者の割合(%)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
		【高齢者支援課】	16.5	16.8	17.2	15.9
評価	(状況) 昨年度比0.4ポイント増、基準値より1.1ポイント高く目標値との差が1.3ポイントとなった。 (原因) 65歳以上人口は87人(0.6%)増に対し認定者数は64人(2.8%)増と、高齢者数の増加率を認定者数の増加率が上回った。85歳以上の比較的重度者(要介護2~)の認定者が増加している。(前年度比+1.2ポイント)					対 前年度
						☔️ (低下)
						☔️ (低)

## 基本事業02 高齢者の相談体制の充実と権利擁護

指標	相談先がある市民の割合(%)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
		【地域包括支援センター】	85.6	82.7	89.3	90.0
評価	(状況) 前年度から6.6ポイント、基準値から3.8ポイント向上している。 (原因) 家族を相談先とする人が大幅に増えている。前年度比+8.2ポイント					対 前年度
						☀️ (向上)
						☀️ (高)

### 基本事業02 高齢者の相談体制の充実と権利擁護

指標	高齢者の権利が損なわれた件数（虐待・権利）（件）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【地域包括支援センター】	11	11	8		☀ (向上)
評価	(状況)虐待認定件数は前年度より3件減少。相談件数は13件減少し11件。 R5.3に公表された全国調査(R3年度分)では高齢者人口10万人当りの相談件数と虐待認定件数平均は79.5件と38.6件。本市のR4年度末高齢者人口(13,717人)を10万人に換算すると相談80.2件、虐待認定51.0件で全国平均を上回っている。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

### 基本事業03 日常生活支援サービスの推進

指標	日常生活支援サービスの登録者数（人）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【高齢者支援課】	373	351	282	385	☂ (低下)
評価	(状況)サービス登録者が前年度比69人減少。 (原因)どの事業も登録が減少しており、民間サービスが充実し選択肢が増えたことも理由と思われる。生きがいデイサービスはコロナ禍以降減少している。シルバーお助けサービスは今年度減少に転じている。従前相当サービスも減少が続いており、担い手不足も原因と思われる。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達成度
						■ ■ ■ (低)

### 基本事業03 日常生活支援サービスの推進

指標	日常生活支援サービスを行うボランティア・NPO等団体数（団体）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【高齢者支援課】	8	9	9	8	☀ (向上)
評価	(状況)R4年度中に新たな活動の開始には至らなかったが、R5年度以降の実施に向けて準備を始めた地区が4カ所できた。 (原因)持続可能な活動とするためには、ある程度時間をかけて十分に協議し地域の共通認識を高める必要があり、生活支援コーディネーターがその支援を行った。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

### 基本事業04 介護保険サービスの推進

指標	要介護等認定者のうち、在宅サービスを利用している者の割合（％）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【高齢者支援課】	62.7	61.4	62.2	65.6	☂ (低下)
評価	(状況)前年度と比較して0.8ポイント増加した。 (原因)要介護等認定者数は前年より2.8%増、在宅サービス利用者数も4.9%増で施設サービス利用者数の1.9%増を上回っているが、地密サービス事業所の閉鎖もあり地密サービス利用者数が6.1%減となったため全体としては伸び悩んだ。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						■ ■ ■ (低)

**基本事業04 介護保険サービスの推進**

指標	地域密着型事業所の利用定員数（人）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【高齢者支援課】	217	217	207	240	(横ばい)
評価	(状況) 小多機事業所1減(-25)、定期巡回事業所1増(+15) (原因) 介護職員等の人材確保、採算性確保とサービス需給見込みから新規事業所の公募は見送った。また、同様の状況から1事業所が閉鎖(事業転換)することとなった。					対前年度
						(低下)
						目標達成度
						(低)

**基本事業05 高齢者に関する保険制度の持続運用**

指標	介護保険1人当たりの給付額(月額)（円）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【高齢者支援課】	20,186	20,540	21,055		(低下)
評価	(状況・原因) 対前年度比で認定者数は2.8%増、サービス受給者数は2.7%増となっており、給付費も2.8%増(約9,400万円)となった。サービス種別では、全般的に増加しているが、特に老健施設利用者の伸びが施設サービスの給付費を押し上げ約4,400万円増となった。					対前年度
						(低下)
						目標達成度
						(低)

**基本事業05 高齢者に関する保険制度の持続運用**

指標	後期高齢者1人当たり医療費(年額)（円）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【市民課】	1,215,857	1,182,337	1,181,182		(向上)
評価	当該年度の取得時期は10月末のため前年度の実績を入力 (状況) R3年度実績値は対前年度比0.10%減少(県内順位は21位) 福岡県全体の一人当たり医療給付費は3.05%増加している。 (原因) 一人当たりの入院費の減少(前年度比 1.1%)が影響している。					対前年度
						(向上)
						目標達成度
						(高)

政策 04 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

施策 04 障害者（児）福祉の充実

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	在宅生活をしている65歳未満の障害者の割合（％）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
		【福祉課】	92.0	92.3	92.3	93.0
評価	<p>(状況) 目標値未達成。近年数値はほぼ横ばい状態にある。</p> <p>(原因) 令和4年度末の施設入所者数は87名で令和3年度末より1名増加した。入所の主な理由は、それまで自宅で生活(単身・家族同居)していたが、本人の心身の状況の変化により入院となり自宅復帰が困難となったケースが数件あった。</p>					対前年度 ☁️ (横ばい) 目標達成度 ■■■ (高)

指標	移動を伴う障害福祉サービス延べ利用者数（人）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
		【福祉課】	512	537	563	741
評価	<p>(状況) H31までの利用件数は増加していたが、新型コロナウイルス感染拡大のR2に急激に減少し、そのまま微増の状況にある。</p> <p>(原因) 前年度からは増加したしているが、障害支援サービス自体が、新型コロナウイルス感染拡大の影響によって全般的に利用控えが続いている影響と思われる。</p>					対前年度 ☀️ (向上) 目標達成度 ■■■ (高)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 自立支援の促進

指標	介護給付（在宅サービス）・訓練等給付・障害児通所支援の自立支援給付利用件数（延べ数）（件）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【福祉課】	10,290	11,672	12,790	10,096	☀️ (向上)
評価	（状況）障害者サービスは短期入所、共同生活援助が伸びている。障害児サービスは児童発達支援、放課後等デイサービスなど利用件数が伸びている。					対前年度
	（原因）コロナ禍において就労系サービスの在宅支援の取り組みが進んだ。また、発達障害の認知が進んだことにより障害児の利用が増加した。					☀️ (向上)
						目標達成度 🏠 (達成)

## 基本事業02 地域生活支援の促進

指標	地域生活支援事業の延べ利用件数（件）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【福祉課】	14,869	14,679	15,406	16,600	☔️ (低下)
評価	（状況）目標未達成。					対前年度
	（原因）前年度との比較では上がったが、まだ新型コロナウイルス感染拡大に伴う利用控えがあり、特に地活型、型の日中活動や移動支援の利用控えが続いている。障害者相談支援の増加は精神疾患の方の繰返しの相談による。					☁️ (横ばい)
						目標達成度 ■■■ (高)

## 基本事業03 障害者（児）の人権擁護

指標	障害者（児）の権利が損なわれた件数（虐待・権利）（件）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【福祉課】	2	0	2	0	☐️ (比較不可)
評価	（状況）2件、虐待認定を行った。					対前年度
	（原因）2件とも養護者による虐待である。相談支援、サービス提供などで関係機関が常に見守理を行っていた世帯であるが、本人の生命の安全が危ぶまれる状態となったため虐待認定を行い保護した。					☐️ (比較不可)
						目標達成度 ■■■ (低)



**政策 04 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり**

**施策 05 セーフティネットの推進**

**あるべき姿**

生活困窮者の自立

**施策の成果状況と評価**

指標	自立した世帯数（世帯）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
		【福祉課】	16	7	24	27
評価	（状況）前年度から17件増加した。実績としては増加傾向にある。					対前年度
	（原因）管内の有効求人倍率も回復しており、就労収入による自立が増加した。					☀️ (向上)
						目標達成度 ■■■ (高)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 生活困窮者の自立支援と適正な生活保護

指標	自立支援プランで改善が見られた者の割合（％）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【福祉課】	48.7	53.1	61.5	85.0	☔ (低下)
評価	(状況) 前年度から8.4ptの増加した。コロナ禍による影響も終息傾向にあるが、以前として低い状況に変わりはない。					対前年度
	(原因) 求人先の選り好みや、コロナ禍での困窮支援（経済支援を受けるため形式的な就職活動の実施など）であったことなどから、実績の数値も抑制されたものと推測される。					☀ (向上)
						目標達成度 ■ ■ ■ (中)

## 基本事業01 生活困窮者の自立支援と適正な生活保護

指標	生活保護で生活が守られている世帯数（世帯）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【福祉課】	185	199	213		(比較不可)
評価	(状況) 前年度から14世帯増加した。生活保護受給世帯数は月では最大値219世帯、最小値209世帯であった。					対前年度
	(原因) それぞれの世帯類型で増加が見られ、経済の低迷を根本的な原因として保護申請に至ったものと思われる。					(比較不可)
						目標達成度 --- (...)

## 基本事業02 市営住宅による住宅の確保

指標	市営住宅入居率（％）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【都市対策課】	92.4	91.6	92.4	94.0	☔ (低下)
評価	(状況) 入居率が上昇した。					対前年度
	(原因) 令和4年度より、随時募集の際に単身入居可能な住戸を拡大したため、入居が増加した。					☀ (向上)
						目標達成度 ■ ■ ■ (中)

## 基本事業02 市営住宅による住宅の確保

指標	市営住宅管理戸数（戸）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【都市対策課】	489	489	489	489	☁ (横ばい)
評価	(状況) 住宅管理戸数に変更は無いが、既に目標値には達している。					対前年度
	(原因) 建替え工事等の実施が無いため、実績値に変更はない。					☁ (横ばい)
						目標達成度 ■ ■ ■ (達成)

政策 04 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

施策 06 地域福祉の推進

あるべき姿

地域福祉の連携

施策の成果状況と評価

指標	地域での福祉活動で支え合っていると思う市民の割合（％）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
		【福祉課】	43.1	29.1	33.1	50.0
評価	(状況) 前年度から4ptの増加したものの、目標値からは大きく下がっている。					対前年度
	(原因) 新型コロナウイルス感染拡大により開催できなかった様々な地域活動が、徐々に再開されるようになったためと考えられる。					☀ (向上)
						目標達成度 (中)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 支え合いの意識と人づくり

指標	近隣とのコミュニケーション、交友関係が構築されていると思う市民割合(%)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【福祉課】	47.6	43.1	37.2	60.0	☂ (低下)
評価	(状況) 前年度から5.9ptの減少。2年連続で減少した。					対前年度
	(原因) 今回のアンケート回答者の殆どが市中心部の筑後、羽犬塚校区の住民で、アパートやマンション等が多いことやコロナ禍の中で地域活動などが中止されたことなどが影響したものと考えられる。					☂ (低下)
						目標達成度
						☐☐☐ (中)

## 基本事業01 支え合いの意識と人づくり

指標	福祉ボランティア団体、NPO法人の構成員数(人)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【福祉課】	718	727	1,256	750	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度から529人増。					対前年度
	(原因) 担当課で、届出団体の活動内容や構成員数等の確認、見直しが行われたことにより団体構成員数が前年度と比較して大きく変化している。					☀ (向上)
						目標達成度
						☑ (達成)

## 基本事業01 支え合いの意識と人づくり

指標	地域福祉活動に参加している市民の割合(%)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【福祉課】	6.6	5.9	4.3	10.0	☂ (低下)
評価	(状況) 前年度比1.6pt減。					対前年度
	(原因) アンケート回答者のうち就労者が多い120~64歳の割合が前年度より多いことや、新型コロナウイルス感染拡大による地域での福祉活動の減少が影響していると考えられる。					☂ (低下)
						目標達成度
						☐☐☐ (低)

## 基本事業02 支え合いの仕組みづくり

指標	民生委員・児童委員の年間相談件数(件)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【福祉課】	3,199	3,531	3,191	3,590	☂ (低下)
評価	(状況) 前年度から340件減少。					対前年度
	(原因) 令和4年度はオミクロン株の流行で新型コロナウイルスの感染者数が最も多くなった。相談内容は、高齢者からの相談が多くを占め、自身も高齢である割合が高い民生委員の活動がおのずと制限されたものと考えられる。					☂ (低下)
						目標達成度
						☐☐☐ (高)

**基本事業02 支え合いの仕組みづくり**

指標	社会福祉協議会で実施した事業への参加者数（人）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【福祉課】	2,371	3,427	6,199	4,227	☀ (向上)
評 価	(状況) 前年度比2,772件増。 (原因) 新規事業の開始や、前年度コロナで中止や規模縮小していた事業・イベントの再開等により、大幅に増加となった。	(人) 				対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)



政策 05 豊かな人間性と創造性を育むまちづくり

施策 01 学校教育の充実

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	将来の夢や目標を持っている小学6年生の割合(%)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【学校教育課】	78.4	85.9	76.1	83.0	☂ (低下)
評価	(状況)令和3年度と比べて9.8ポイント低下している。 (原因)新型コロナウイルス感染拡大防止の影響で、将来についての夢を持っていない子供の増加に加え、体育祭等の様々な学校行事が縮小され、目標をもって達成感を味わう機会が少なかった可能性がある。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達成度
						■ ■ ■ (低)

指標	将来の夢や目標を持っている中学3年生の割合(%)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【学校教育課】	70.8	65.2	62.1	72.0	☂ (低下)
評価	(状況)令和3年度と比べて3.1ポイント低下している。 (原因)新型コロナウイルス感染拡大防止の影響で、社会生活についての不安を持つ子供や将来についての夢を持っていない子供の増加に加え、体育祭等の様々な学校行事が縮小され、目標をもって達成感を味わう機会が少なかった可能性がある。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達成度
						■ ■ ■ (低)

指標	学校教育(小・中学校)に満足している保護者の割合(%)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【学校教育課】	71.4	70.7	64.9	80.0	☂ (低下)
評価	(状況)令和3年度と比べて5.8ポイント低下している。 (原因)感染拡大防止の影響で、学校生活に制限があり、マスク着用や黙食に対する反対意見等満足できない要素があったのではないかと。学校は学校だより等で子供たちの様子やがんばりを発信しているが、保護者に浸透していない可能性がある。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達成度
						■ ■ ■ (低)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 確かな学力の向上

指標	小学6年生の国語、算数（全国学力・学習状況調査）の平均点の指数（pt）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【学校教育課】	-	103.9	100.1	103.0	☂ (低下)
評価	(状況) 前回調査の令和3年度と比べて3.8ポイント低下しているが、全国平均並みである。 (原因) 子供の実態等が毎年違うが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で基礎基本を定着させる時間が少なかったのが影響している可能性がある。					対前年度
		☂ (低下)				
						目標達成度
						☐☐☐ (低)

## 基本事業01 確かな学力の向上

指標	中学3年生の国語、数学（全国学力・学習状況調査）の平均点の指数（pt）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【学校教育課】	-	100.3	99.6	100.0	☀ (向上)
評価	(状況) 前回調査の令和3年度と比べて0.7ポイント低下しているが、ほぼ横ばい状態である。					対前年度
		☁ (横ばい)				
						目標達成度
						☐☐☐ (高)

## 基本事業02 豊かな心の育成

指標	学校の決まりを守っている小学6年生の割合（%）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【学校教育課】	89.6	-	-	90.0	(比較不可)
評価	「全国学力・学習状況調査」の調査項目から外れたため、実績値の取得が不可能である。					対前年度
		(比較不可)				
						目標達成度
						(---)

## 基本事業02 豊かな心の育成

指標	毎日朝食を食べている小学校6年生の割合（%）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【学校教育課】	91.6	94.9	90.4	93.0	☂ (低下)
評価	(状況) 令和3年度と比べて4.5ポイント低下している。 (原因) PTAの「早寝・早起き・朝ごはん」の取組や朝食いきいきシートを活用した取組など各学校で工夫しながら朝食摂取の大切さを指導しているが家庭の協力が低下した可能性がある。継続して指導していく必要がある。					対前年度
		☂ (低下)				
						目標達成度
						☐☐☐ (中)



### 基本事業02 豊かな心の育成

指標	学校の規則を守っている中学3年生の割合(%)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【学校教育課】	97.5	不明	-	93.0	
評価	「全国学力・学習状況調査」の調査項目から外れたため、実績は不明である。					(比較不可)
		対 前年度	(比較不可)	目 標 達成度	(---)	

### 基本事業02 豊かな心の育成

指標	毎日朝食を食べている中学3年生の割合(%)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【学校教育課】	89.6	92.1	92.7	92.0	☀️ (向上)
評価	(状況)令和3年度と比べて0.6ポイント向上している。ほぼ横ばい状態である。 (原因)PTAの「早寝・早起き・朝ごはん」の取組や各学校での規則正しい生活を送るような指導が充実している可能性がある。					対 前年度
		(横ばい)	目 標 達成度	🏰 (達成)		

### 基本事業03 健やかな体の育成

指標	小学5年生の体力・運動能力調査の平均点の指数(pt)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【学校教育課】	-	98.2	98.9	103.0	☔️ (低下)
評価	(状況)令和3年度と比べて0.7ポイント向上している。ほぼ横ばい状態である。 (原因)全国体力・運動能力調査に関する体力テストが7月までの実施であり、前年度までの取組が影響すると考える。前年度は、新型コロナの影響で体育の授業が制限されていたことが伸び悩んでいる原因の可能性がある。					対 前年度
		(横ばい)	目 標 達成度	■ (低)		

### 基本事業03 健やかな体の育成

指標	中学2年生の体力・運動能力調査の平均点の指数(pt)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【学校教育課】	-	101.5	105.7	102.0	☀️ (向上)
評価	(状況)全国体力・運動能力調査の結果から前回調査の令和3年度と比べて4.2ポイント向上している。 (原因)中学校においては、部活動が新型コロナウイルス感染拡大防止以前の状態に近い形でできるようになり、運動する機会や運動量が増えたことがよい結果につながっていると考えられる。					対 前年度
		(向上)	目 標 達成度	🏰 (達成)		

**基本事業04 小中連携・地域連携の推進**

指標	コミュニティ・スクール設置学校数(校)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【学校教育課】	6	8	11	11	☀ (向上)
評価	(状況)市内全小学校11校に設置できた。今後の活動の充実が期待される。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						☑ (達成)

**基本事業04 小中連携・地域連携の推進**

指標	1,000人当たり不登校生徒の出現率(全国平均100とした場合)(過去3年平均)(pt)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【学校教育課】	93.0	114.6	不明	70.0	(比較不可)
評価	現時点では未公表のため指標実績が不明であるが、令和4年度の不登校児童・生徒数が増加しているため、不登校の原因分析や対策の充実が急務であり、不登校対策委員会での検討を進めていく。					対 前年度
						(比較不可)
						目 標 達成度
						(---)

**基本事業05 教育環境の充実**

指標	学校維持管理及びセキュリティ管理における教育支障件数(件)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【学校教育課】	7	18	22	15	☂ (低下)
評価	施設設備の老朽化により下記の事例が発生した。 ・給排水管漏水(10件) ・空調機故障(5件) ・その他施設設備等不具合(7件)					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達成度
						■■ (低)

**基本事業05 教育環境の充実**

指標	学校トイレの洋式化率(%)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【学校教育課】	61.67	61.67	74.58	70.0	☀ (向上)
評価	小学校6校、中学校2校の洋式化を実施し、前年度比約13ポイントの上昇となった。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						■■■ (高)

**基本事業05 教育環境の充実**

指標	小学校再編計画決定後の児童数100名未満の小学校数（校）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
		【学校教育課】	0	0	0	0
評価	学校再編計画における水田・下妻・古島小の再編と古川・水洗小の再編により、100人未満の小規模校は解消される。					対前年度
		☁️ (横ばい)				
						目標達成度
						☐☐☐ (高)

**基本事業05 教育環境の充実**

指標	電子黒板等設置割合（％）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
		【学校教育課】	83.01	100	100	50.0
評価	全普通教室の配置は完了しているが、老朽化による更新、また特別教室への配置も行った。					対前年度
		☁️ (横ばい)				
						目標達成度
						🏠 (達成)



政策 05 豊かな人間性と創造性を育むまちづくり

施策 02 生涯学習・スポーツの推進

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	生涯学習活動を行っている市民の割合（％）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【社会教育課】	37.0	64.9	69.18	50.0	☀️ (向上)
評価	(状況) 目標値を上回っている。 (原因) アンケートの表現を見直した結果、昨年度から目標値を上回っている。 昨年度からさらに向上しており、コロナ禍からの回復が要因と思われる。					対 前年度
						☀️ (向上)

指標	学習効果を家庭・地域に活かしている市民割合（％）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【社会教育課】	31.3	33.8	31.94	28.0	☀️ (向上)
評価	(状況) 昨年に引き続き、目標値を上回っている。 (原因) 学習効果を自分のために活かしている人が微増し家庭のために活かしている人が減少したため、昨年度よりわずかに値が下がったが、コロナ禍からの回復傾向により、目標を上回る水準を確保できたものと思われる。					対 前年度
						☔️ (低下)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 生涯学習の推進

指標	生涯学習の機会が十分にあると思う市民の割合（％）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【社会教育課】	15.1	11.4	10.0	17.0	☔ (低下)
評価	(状況) 前年度からさらに低下した。 (原因) アンケートの対象校区が限定されているので、単純に比較できないが、昨年度同様、40歳～64歳でやや不満・不満の割合が多くなっている。					対前年度
						☔ (低下)
						目標達成度
						■ (中)

## 基本事業01 生涯学習の推進

指標	社会教育施設の年間利用者数（人）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【社会教育課】	88,096	110,842	167,992	240,000	☔ (低下)
評価	(状況) サザンクス筑後 66,529人 中央公民館(サコア) 61,509人 北部交流センター(チカス) 39,954人 (原因) コロナ禍からの回復により、すべての施設の利用者が前年より増加したと思われる。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						■ (中)

## 基本事業01 生涯学習の推進

指標	図書館を利用している市民の割合（％）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【社会教育課】	26.6	26.6	26.7	30.0	☔ (低下)
評価	(状況) 令和5年3月31日現在 人口 49,218人 市民登録者 13,123人 前年度比で微増にとどまった。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、新規に来館し登録する市民の数が伸び悩んだためと思われる。					対前年度
						☁ (横ばい)
						目標達成度
						■■ (高)

## 基本事業02 生涯スポーツの推進

指標	週に1回以上、運動・スポーツをしている市民の割合（％）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【社会教育課】	54.9	52.0	48.6	50.0	☔ (低下)
評価	(状況) 前年度から減少し、目標値を下回る値となった。 (原因) 長引くコロナ禍により、昨年度まで「おうち時間」で運動・スポーツを行っていた人が、コロナ収束にともないスポーツ以外の事に戻って行った可能性がある。					対前年度
						☔ (低下)
						目標達成度
						■■ (高)

### 基本事業02 生涯スポーツの推進

指標	競技会場に行ってスポーツを見る市民の割合（％）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【社会教育課】	17.5	19.2	21.7	40.0	☂ (低下)
評価	(状況) 前年度に引き続き回復傾向にある。 (原因) 新型コロナウイルス感染症によるスポーツ施設の休館がなくなったりイベントが再開したりしたことにより、増加したものと推測される。					対前年度 ☀ (向上)
						目標達成度 ■ ■ ■ (低)

### 基本事業02 生涯スポーツの推進

指標	1年間にスポーツボランティア活動をした市民の割合（％）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【社会教育課】	6.1	6.4	10.8	8.0	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度から大きく伸びて、目標を達成した。 (原因) 大会の再開等に伴い、運営スタッフや出場者の保護者等による活動が増加したためと推測される。					対前年度 ☀ (向上)
						目標達成度 🏰 (達成)

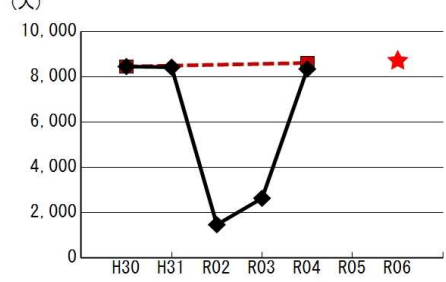


### 基本事業02 生涯スポーツの推進

指標	福岡ソフトバンクホークス連携によるスポーツ関連事業参加者数（人）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【社会教育課】	20	517	941	1,000	☁ (横ばい)
評価	(状況) 前年度より増加し目標値近くまで回復した。 (原因) コロナ禍のため中止していた事業を徐々に再開したためと思われる。 (中止) ・ファミ野球教室 (実施) キャッチボールクラブ 488名、10-ホーク 178名、スポーツフェスティバル野球大会 250名(保護者等含)、スポーツ指導者講習会 25名 計 941名					対前年度 ☀ (向上)
						目標達成度 ■ ■ ■ (高)

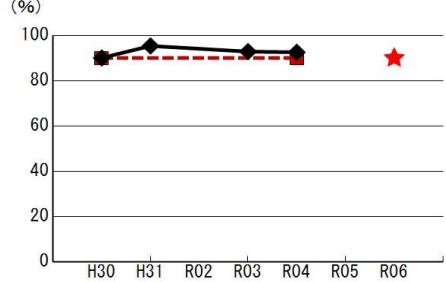


### 基本事業03 文化財の保護と活用

指標	指定文化財のき損・滅失・亡失・盗難件数（件）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【社会教育課】	2	2	0	0	☀ (向上)
評価	(状況) ・R4年度のき損・滅失・亡失・盗難件数は0件であった。また、R3年度にき損した水田天満宮本殿、欠塚古墳階段はR4年度に修復した。					対前年度 ☀ (向上)
						目標達成度 🏰 (達成)

**基本事業03 文化財の保護と活用**

指標	文化財施設・文化財事業の入場・参加者数(人)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
		【社会教育課】	1,458	2,625	8,335	8,600
評価	(状況) R3年度よりも大幅に増加し、目標値近くまで回復した。 (原因) コロナ感染拡大防止のための休館や事業休止等がなくなったためと思われる。					対 前年度
						 (向上) 目 標 達 成 度  (高)

**基本事業04 青少年教育・体験活動の推進**

指標	青少年体験活動に満足している参加者の割合(%)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
		【社会教育課】	なし	92.8	92.5	90.0
評価	(状況) 前年度水準を維持し、目標を達成した。 (原因) 友愛キャンプや中高生ボランティアちっご塾を、ほぼ計画どおりに実施できたためと思われる。					対 前年度
						 (横ばい) 目 標 達 成 度  (達成)



政策 05 豊かな人間性と創造性を育むまちづくり

施策 03 男女共同参画社会の推進

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	男女が平等だと思う市民の割合 (%)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
		【男女共同参画推進室】	56.9	54.6	56.9	58.0
評価	(状況) 昨年との比較					対前年度
	学校76.9% 78.1% 職場45.3% 47.5% 家庭49.9% 53.5% 地域46.4% 48.6%					目標達成度
						☀ (向上) ■ ■ ■ (高)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 男女共同参画社会実現に向けた市民や市内企業への啓発

指標	「男は仕事、女は家庭」という固定的な役割分担意識に反対する市民の割合(%)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【男女共同参画推進室】	46.8	48.4	48.8	50.0	☀️ (向上)
評価	(状況) 向上 (原因) 終身雇用制度が崩壊し、非正規労働者が増える中、夫婦共に働かなければ生計維持が難しくなっており、夫婦共働き世帯の増加が原因と思われる。					対前年度 ☀️ (向上)
						目標達成度 ■■■ (高)

## 基本事業02 まちづくりにおける女性参画の推進

指標	審議会・委員会の女性登用率(過去3年平均)(%)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【男女共同参画推進室】	33.4	32.8	33.1	35.0	☀️ (向上)
評価	(状況) 上昇 (原因) 過去3年間の平均のため H31: 31.3%、R2: 34.1%、R3: 33.0%、R4: 32.1% 令和4年度の委員総数は令和3年度324人と変わらないが、その内女性数107人(3年度) 104人(4年度)となった。各審議会でも女性委員が少しずつ増減しているが、相対的に減っている。					対前年度 ☀️ (向上)
						目標達成度 ■■■ (高)

## 基本事業02 まちづくりにおける女性参画の推進

指標	区長・公民館長の女性登用率(%)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【男女共同参画推進室】	5.3	6.7	5.3	6.3	☀️ (向上)
評価	(状況) 低下 女性区長 (R3) 3人 (R4) 3人 女性公民館長 (R3) 7人 (R4) 5人 (原因) 女性公民館長の減少によるもの 地域における平等感の低さやジェンダーバイアスが影響しているのではないかとと思われる。					対前年度 ☔️ (低下)
						目標達成度 ■■■ (高)

## 基本事業03 男女に関する人権保護と相談体制の充実

指標	男女の人権に関する通知・連携件数(件)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【男女共同参画推進室】	3	2	0		(比較不可)
評価	(状況) DVによる県との連携は0件だった。 (原因) 直接の原因はわからない。夫婦関係やDV相談は増えており、相談してもらったことで、逃げるまで我慢するという状況を防止出来ているのではないかと考えられる。					対前年度 (比較不可)
						目標達成度 (---)

**政策 05 豊かな人間性と創造性を育むまちづくり**

**施策 04 人権尊重と同和教育の推進**

あるべき姿

**施策の成果状況と評価**

指標	最近1年間に人権を傷つけられたことがある市民の割合（％）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
		【人権・同和教育課】	24.2	23.8	21.6	22.0
評価	(状況) 前年度比 2.2ポイント (原因) 通常の広報等啓発に加え、対面によるセミナーや講演会を再開したことや、今の社会情勢を反映し、市民に身近にかつ関心のある講座内容としたこと、パネル展示にも取り入れたことも向上した原因と考えられる。					対前年度
						目標達成度
						☀ (向上) 目 標 達 成 度 🏰 (達成)

## 基本事業の成果状況と評価

### 基本事業01 市民や市内企業への人権教育・啓発

指標	人権啓発事業・講座への初めての参加者の割合（人）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
		【人権・同和教育課】	25.3	26.0	22.9	30.0
評価	<p>(状況) 7月講演会 (20.7%), 12月つどい (30.3%), セミナー (20.9%) 合計173/757人 (22.9%)。昨年度比 3.1ポイント。                      (原因) 参加者数も含めて低下している。オンラインによる講演会を併用しておらず、コロナ禍による感染拡大も影響があったと考えられる。</p>					対前年度
			(低下)	目標達成度	(低)	

### 基本事業02 児童・生徒への人権教育・啓発

指標	「いじめは、どんな理由があってもいけないことだ」に対し「当てはまらない」と回答した中学3年生の割合（%）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
		【人権・同和教育課】	1.3	1.0	1.6	1.5
評価	<p>(状況) 前年度比0.6ポイント増                      (原因) 教員による指導に生徒が納得できず、生徒との認識にギャップが生じているのか、或いは教員の指導態勢に課題があるのかもしれない。一方で、生徒が設問を理解できなかった可能性もある。いずれにしても、精査が必要である。</p>					対前年度
			(低下)	目標達成度	(高)	

政策 06 安心して安全に暮らせるまちづくり

施策 01 防災・減災対策の推進

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	被災世帯・事業所数（件）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【防災安全課】	6	4	0	0	☀️ (向上)
評価	(状況) 令和4年度において、大きな被害は発生しなかった。	(件) 				対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度
						🏰 (達成)

指標	災害による負傷者数（人）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【防災安全課】	0	0	0	0	☀️ (向上)
評価	(状況) 令和4年度において、大きな被害は発生しなかった。	(人) 				対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度
						🏰 (達成)

指標	災害による死亡者数（人）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【防災安全課】	0	0	0	0	☀️ (向上)
評価	(状況) 令和4年度において、大きな被害は発生しなかった。	(人) 				対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度
						🏰 (達成)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 防災・災害情報機能の充実

指標	防災・災害情報の提供手段数（手段）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【防災安全課】	10	11	12	12	☀️ (向上)
評価	(状況) コミュニティ無線、広報車巡回、緊急速報メール、市公式ライン他 合計12手段で情報伝達を行っている。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度
						🏠 (達成)

## 基本事業01 防災・災害情報機能の充実

指標	防災・災害情報の維持管理上のトラブル件数（件）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【防災安全課】	2	1	1	0	☀️ (向上)
評価	(状況) 令和4年度は子局1カ所（徳久公民館子局）で故障が発生した。					対前年度
						☁️ (横ばい)
						目標達成度
						🏠 (高)

## 基本事業02 地域防災力の向上

指標	家庭での災害時の備えの取り組み項目数（13項目中）（項目）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【防災安全課】	3.8	3.7	2.8	6.5	☔️ (低下)
評価	(状況) 前年度から0.9ポイント減少した。水・食料の備蓄など災害に関する基本的な備えについては、前回並みの回答数であるが、それ以外は全体的に回答数が減少している。 (原因) 近年、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、啓発の場が減少していたことにも起因すると考えられる。					対前年度
						☔️ (低下)
						目標達成度
						🏠 (低)

## 基本事業02 地域防災力の向上

指標	地域での防災訓練及び講習会参加者数（人）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【防災安全課】	415	788	1,290	1,600	☀️ (向上)
評価	(状況) R3年度に比べて参加者数は、502名増加した。 (原因) 新型コロナウイルスの感染拡大が一定終息し、防災訓練や防災講話が徐々に開催出来るようになってきたことによる。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度
						🏠 (中)

**基本事業02 地域防災力の向上**

指標	災害時個別支援計画が策定されている要援護者の割合（％） 【防災安全課】	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
		6.80	9.02	10.12	9.8	☀ (向上)
評価	(状況) R3年度から1.1ポイント増加した。 (原因) 個別避難計画作成に関する意向調査及び計画作成支援の取り組みを進めたため。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						☀ (達成)

**基本事業03 災害時の支援体制の充実**

指標	災害時の支援体制の県基準未達項目数（2項目中）（項目） 【防災安全課】	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
		0	0	0	0	☀ (向上)
評価	(状況) 県基準未達項目はなし					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						☀ (達成)

**基本事業03 災害時の支援体制の充実**

指標	災害時に職員として果たすべき役割や初動を理解している職員の割合（％） 【防災安全課】	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
		95.7	93.1	95.3	100.0	☀ (向上)
評価	(状況) 2.2ポイント上昇した。台風14号対応において多くの職員が災害対応に従事し理解が深まったと思われる。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						■ ■ (中)





政策 06 安心して安全に暮らせるまちづくり

施策 02 安全な暮らしの推進

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	市内の刑法犯認知件数（件）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【防災安全課】	219	188	182	250	☀️ (向上)
評価	(状況) 前年から6件減少した。					対前年度 ☀️ (向上)
						目標達成度 🏰 (達成)

指標	交通事故発生件数（件）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【防災安全課】	234	223	253	250	☀️ (向上)
評価	(状況) 前年から30件増加した。 (原因) 高齢者に起因する交通事故の発生件数が増加していることが要因の一つと思われる。					対前年度 ☔️ (低下)
						目標達成度 🏰 (高)

指標	交通事故死傷病者数（人）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【防災安全課】	318	296	329	330	☀️ (向上)
評価	(状況) 前年から33件増加した。 (原因) 高齢者に起因する交通事故の発生件数が増加していることが要因の一つと思われる。					対前年度 ☔️ (低下)
						目標達成度 🏰 (達成)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 防犯対策の推進

指標	家庭での防犯対策取り組み項目数（10項目中）（項目）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【防災安全課】	1.34	1.31	2.96	2.5	☀️ (向上)
評価	(状況) 前年度から1.65ポイント上昇した。 (原因) 特殊詐欺事件による被害の発生など犯罪に関する関心が高まったためと思われる。					対前年度 ☀️ (向上)
						目標達成度 🏰 (達成)

## 基本事業01 防犯対策の推進

指標	地域での防犯対策実践延べ数（11校区×4項目中）（項目）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【防災安全課】	29	29	36	32	☀️ (向上)
評価	(状況) 前年度から7ポイント増加 (原因) 見守り活動や夜間パトロール活動に加えて、県が推進する「ながら防犯活動」が実施されているため。					対前年度 ☀️ (向上)
						目標達成度 🏰 (達成)

## 基本事業01 防犯対策の推進

指標	行政による防犯機能改善のための取り組み数（項目）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【防災安全課】	3	1	3	3	☀️ (向上)
評価	(状況) 令和4年度は、安全で安心できる推進協議会1回、年末年始特別警戒出陣式（防犯啓発活動）1回、社会を明るくする運動（防犯啓発活動）1回実施した。					対前年度 ☀️ (向上)
						目標達成度 🏰 (達成)

## 基本事業02 交通安全活動の推進

指標	交通事故発生件数（件）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【防災安全課】	234	223	253	250	☀️ (向上)
評価	(状況) 前年から30件増加した。 (原因) 高齢者に起因する交通事故の発生件数が増加していることが要因の一つと思われる。					対前年度 ☔️ (低下)
						目標達成度 🏰 (高)

**基本事業02 交通安全活動の推進**

指標	高齢者1,000人当たりの交通事故死傷者数(人)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【防災安全課】	5.03	4.18	4.81	6.0	☀️ (向上)
評価	(状況) 前年より9名増加の66名であった。0.63ポイント増のほぼ横ばいであった。					対前年度 ☁️ (横ばい)
						目標達成度 🏠 (達成)

**基本事業03 消費生活の安定**

指標	消費者相談の解決率(過去3年平均)(%)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【福祉課】	93.4	94.3	92.7	91.0	☀️ (向上)
評価	(状況)単年度の数値は90.6で、前年度より4.4ポイント低下し、過去3年の平均実績値も前年度より1.6ポイント低下した。年齢別で見れば、18~20歳からの相談件数が増加したということもない。					対前年度 ☔️ (低下)
	(原因)センターが介入した案件のうち、斡旋不調件数が増加したことが影響した。					目標達成度 🏠 (達成)

**基本事業03 消費生活の安定**

指標	クーリングオフを知っている市民の割合(%)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【福祉課】	74.9	73.3	80.4	82.0	☀️ (向上)
評価	(状況)前年度より7.1pt上昇。65歳以上の層が前年度より大きく上昇した。					対前年度 ☀️ (向上)
	(原因)様々な消費トラブルが増加・複雑化していることが報道等で取り上げられることも増え、消費者側の意識も高まってきたのではないかと考えられる。					目標達成度 🏠 (高)

**基本事業03 消費生活の安定**

指標	特殊詐欺被害件数(件)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【防災安全課】	2	5	0	0	☀️ (向上)
評価	(状況) 令和4年中の発生件数は0件であった。					対前年度 ☀️ (向上)
						目標達成度 🏠 (達成)

**基本事業04 青少年犯罪の抑制**

指標	青少年の刑法犯数（人）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【社会教育課】	12	5	3	5	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度と比較すると減少した。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						☀ (達成)

**基本事業05 空き家の適正管理**

指標	老朽危険家屋の除却件数（累計）（件）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【防災安全課】	14	22	26	14	☀ (向上)
評価	(状況) 令和4年度除却件数4件					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						☀ (達成)

**基本事業05 空き家の適正管理**

指標	空き家バンク取引成約件数（累計）（件）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【防災安全課】	55	60	62	69	☁ (横ばい)
評価	(状況) R4年度成約件数2件					対 前年度
						☔ (低下)
						目 標 達成度
						☐☐☐ (高)

**基本事業05 空き家の適正管理**

指標	空き家バンク登録件数（累計）（件）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【防災安全課】	120	130	137	140	☁ (横ばい)
評価	(状況) R4年度登録件数7件					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						☐☐☐ (高)

政策 06 安心して安全に暮らせるまちづくり

施策 03 消防・救急・救助体制の整備充実

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	火災による損害額（千円）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
		【予防課】	8,746	54,345	5,671	1,736
評価	(状況) 前年度より2件減少しており、それに伴い損害額も減少している。	(千円) 				対前年度
	(原因) 全体的に火災は減少方向であり、特に全焼火災が減少している。					☀️ (向上)
						目標達成度 ■■■ (中)

指標	市の消防や救急体制に満足している市民の割合（％）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
		【警防課】	94.1	96.8	96.7	97.0
評価	(状況) 数値は僅かであるが減少。	(％) 				対前年度
	(原因) 上記のとおり、僅かではあるが減少しているものの、依然として高い水準のまま推移していると解する。					☁️ (横ばい)
						目標達成度 ■■■ (高)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 消防団の充実強化

指標	平時にすぐに消防活動ができる団員の割合(%)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【総務課】	39.2	41.1	39.9	45.0	☂ (低下)
評価	(状況) ・昨年度から1.2%下降 (原因) ・被雇用者団員の割合は前年度から1.3%低下しているため、活動できる団員の割合は上昇すると思われたが、下降に転じた。具体的な原因は把握できていない。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達成度
						■ ■ ■ (低)

## 基本事業02 防火意識の高揚

指標	消防訓練・防災講話等受講者数(人)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【警防課】	4,659	4,127	5,757	10,000	☀ (向上)
評価	(状況) 数値は大幅に増加。 (原因) コロナ禍を経て、これまで中止・延期になっていた訓練依頼等が一気に増加したためと考えられる。コロナ以前の数値にはまだ及ばないが、今後も増加する見込みである。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						■ ■ ■ (中)

## 基本事業02 防火意識の高揚

指標	人口1万人あたりの火災件数(件)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【予防課】	2.4	2.9	2.0	2.7	☀ (向上)
評価	(状況) 火災件数は12件であり、昨年度比で2件減少している。 (原因) 建物火災が4件、車両火災5件、その他火災が3件、車両火災が増加している。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						■ ■ ■ (高)

## 基本事業02 防火意識の高揚

指標	住宅用火災警報器を設置している住宅の割合(%)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【予防課】	0	76	61.0	82.0	☂ (低下)
評価	(状況) 昨年度と比較して15%設置率が減少している。 (原因) 昨年度はコロナ禍により市民アンケートや広報ちくごでのアンケートを実施したが、今年度は一般住宅への防火訪問を実施したため数値に差異が出たため。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達成度
						■ ■ ■ (中)

**基本事業03 救急救命体制の充実**

指標	市民による心肺停止患者への蘇生術の実施率（％）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【警防課】	66.7	76.4	87.5	75.0	☀️ (向上)
評価	(状況) 数値は上昇 (原因) 119番を受診する指令員の口頭指導と救急隊からのプレアライバルコール(出動時の電話による指導)が功を奏していると考えられる。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度 🏠 (達成)

**基本事業03 救急救命体制の充実**

指標	軽症での救急車利用割合（％）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【警防課】	42.0	42.7	50.5	30.0	☔️ (低下)
評価	(状況) 数値は上昇 (原因) コロナ禍で救急件数も上昇。その中で受診する病院が分からない、発熱したから病院に行きたいなど、救急車を利用しなくてもよい救急要請が増加したためと史料される。					対前年度
						☔️ (低下)
						目標達成度 ■■■ (低)

**基本事業03 救急救命体制の充実**

指標	救急救命士複数搭乗率（％）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【警防課】	19.4	31.6	40.1	40.0	☁️ (横ばい)
評価	(状況) 数値は上昇 (原因) 目標値とほぼ同様の数値に達した。新型コロナウイルス感染症が収束気味になり、複数搭乗できる環境下になったことが要因だと考えられる。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度 ■■■ (高)

**基本事業04 防火対象物・危険物施設の適正管理の徹底**

指標	立入検査時、消防設備が維持されていない割合（％）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【予防課】	18.4	8.6	18.9	10.0	☔️ (低下)
評価	(状況) 昨年度より10.3%維持率が低下している。 (原因) コロナ禍のため消防用設備点検実施時の業者の立ち入りが制限されたことが影響したためと考える。					対前年度
						☔️ (低下)
						目標達成度 ■■ (中)

**基本事業04 防火対象物・危険物施設の適正管理の徹底**

指標	危険物施設の火災・漏洩事故発生件数（件）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【予防課】	0	2	1	0	☔ (低下)
評価	(状況) 危険物許可施設からの漏洩事故はなし。少量危険物施設からの漏えい事故が1件発生。 (原因) 農業用ハウスボイラー用燃料タンクに自家用車を衝突させ、破損させたことによる人為的ミス。	(件) 				対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						■■■ (高)

**基本事業05 各種消防力の整備**

指標	市消防本部で通常対応できなかった出動回数（回）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【警防課】	40	53	63	0	☔ (低下)
評価	(状況) 数値は大幅に増加。 (原因) 新型コロナウイルス感染症による救急件数増加が大きな要因である。昨年（R4）度救急件数は過去最高であった。	(回) 				対前年度
						☔ (低下)
						目標達成度
						■■ (低)

**基本事業05 各種消防力の整備**

指標	資機材トラブル件数（件）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【警防課】	28	27	17	0	☀ (向上)
評価	(状況) 数値は減少。 (原因) 車両及び資機材等更新の時期が近づき、さらに経年劣化等に伴う故障等が増加している。	(件) 				対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						■■ (中)



**政策 07 持続可能なまちづくり**

**施策 01 市民協働の推進**

**あるべき姿**

自分のまちを自分たちで担う人が増加し、地域コミュニティが形成されている。

**施策の成果状況と評価**

指標	地域活動へ参加している市民の割合 (%)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
		【協働推進課】	43.7	46.7	36.4	60.0
評価	前年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染防止のため地域活動の中止・延期もあり、コロナ禍で地域活動への参加機会が減少したことが大きく影響していると考えられる。					対前年度
						☂ (低下)
						目標達成度
						■ ■ ■ (低)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 地域コミュニティ活動の活性化

指標	校区コミュニティ協議会の活動内容を知っている市民割合（％）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【協働推進課】	59.8	58.2	46.9	65.0	☔ (低下)
評価	各校区コミュニティでは毎月の広報発行やFB等で情報発信に取り組んでいるが、アンケート質問の「名称も活動内容も知らない」という回答が増えており、コロナ禍でコミュニティ活動の中止・延期によるコミュニティ活動への参加機会が減少したことが大きく影響していると考えられる。					対前年度
						☔ (低下)
						目標達成度 ■■■ (低)

## 基本事業01 地域コミュニティ活動の活性化

指標	行政区加入率（％）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【協働推進課】	93.6	94.2	93.8	94.5	☁ (横ばい)
評価	行政区加入促進パンフレットを作成し、各行政区や市窓口にて配布を行っているが、前年比で微減となっている。防犯・防災や環境美化、子ども高齢者の見守りなどの自治会活動への理解を深めていく必要がある。					対前年度
						☁ (横ばい)
						目標達成度 ■■■ (低)

## 基本事業02 市民活動の活性化

指標	市民活動団体・ボランティア団体の数（団体）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【協働推進課】	37	39	37	39	☁ (横ばい)
評価	市民団体相互の理解を図る目的で8月と2月に代表者会議を実施。また、市民活動団体登録制度による登録団体について、団体の紹介冊子を作成し、行政区や校区コミュニティ協議会へ配付したほか市HPに掲載すること等により周知を図っている。活動支援補助金の活用団体は2件（年度比+1）であった。					対前年度
						☁ (横ばい)
						目標達成度 ■■■ (---)

## 基本事業03 国際化・多文化共生の基盤づくり

指標	多文化共生社会に取り組んでいる庁内の事業件数（事業）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【協働推進課】	8	8	11	8	☁ (横ばい)
評価	庁内における外国人との窓口対応等が考えられる部署間で情報共有を行うことで相談体制の充実を行っている。また、外国人雇用企業を通して市内外国人へのアンケートを実施し実態把握に努めた。今後も多言語による情報提供や窓口対応等を充実していく必要がある。					対前年度
						☁ (横ばい)
						目標達成度 ■■■ (---)

**政策 07 持続可能なまちづくり**

**施策 02 積極的な広報・広聴の展開**

あるべき姿

**施策の成果状況と評価**

指標	市政情報が、広報・広聴により適切に共有できていると思う市民の割合（％）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
		【総務広報課】	80.3	77.3	76.9	85.0
評価	(状況) 前年度から横ばい (原因) 市公式LINEの運用を開始し、広報やホームページ等、複数の媒体を組み合わせながら即時発信にも対応したが、LINEへの登録者もまだ少なく十分浸透していないこと、電子媒体等を活用して市民の声を聞く広聴手段の確保が不十分だったことが考えられる。					対前年度
						☁ (横ばい)
						目標達成度
						■ ■ ■ (中)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 広報の充実

指標	市政からの情報がわかりやすく伝えられていると思う市民の割合（％） 【総務広報課】	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
		81.7	77.3	73.5	85.0	☔ (低下)
評価	(状況) 基準値、前年比ともに低下 (原因) 市公式LINEでの発信を開始しSNSツールでの即時発信に対応したが、登録者がまだ少なく浸透していない。また、SNSからの情報取得の基礎となるホームページの整理や対象を意識した広報紙づくりが不十分であったと考えられる。					対前年度
						☔ (低下)
						目標達成度 ■■■ (中)

## 基本事業01 広報の充実

指標	パブリシティにより、新聞5紙に掲載された筑後市関連の記事数（件） 【総務広報課】	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
		191	161	153	250	☔ (低下)
評価	(状況) 対基準値、対前年度いずれも低下。 (原因) 新型コロナウイルス関連のリリースが大幅に減少。コロナの感染拡大、収束の波が続く中で、イベント等も復活の兆しはあるものの、制限付きの開催も多く、コロナ禍以前と比較すると発信数そのものが減少していたためと考えられる。					対前年度
						☔ (低下)
						目標達成度 ■■■ (中)

## 基本事業02 広聴の充実

指標	市民が意見を行政に伝える機会に満足している市民の割合（％） 【総務広報課】	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
		78.8	77.2	80.2	85.0	☔ (低下)
評価	(状況) 対基準値は下回っているものの、前年度から3ポイント上昇。しかし、「ふつつ」との回答が約7割と高い。 (原因) コロナの完全収束にはないものの、感染対策を取りながら会議や協議等、意見交換ができる機会が増えてきたことで、市民の不満が若干解消されていると思われる。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度 ■■■ (高)

政策 07 持続可能なまちづくり

施策 03 持続可能な行政経営

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	全施策の市民満足度平均 (pt)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
		【企画調整課】	3.09	3.04	3.01	3.10
評価	<p>(状況) 前年比0.03pt低下した。平均値としては微減であるが個別には18本、全体の64%の施策が満足度低下している。</p> <p>(原因) コロナ禍における行動制限や社会の閉塞感に物価高騰が追い打ちをかけ仕事や生活への不安が不満として現れていると推察する。</p>					対前年度
						☔ (低下)
						目標達成度
						■ (低)

指標	総合計画(施策・基本事業)の成果指標向上割合(対基準値)(%)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
		【企画調整課】	51.5	53.4	52.9	70.0
評価	<p>(状況) 238指標の内、126施策・基本事業の成果指標(対基準値)が向上している。</p> <p>(原因) コロナ禍によりイベント事業、観光事業等の実施ができないこと、健康づくりに係る事業の値が低下していることが大きな要因。</p>					対前年度
						☁ (横ばい)
						目標達成度
						■ (中)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 P D C Aサイクルの実践

指標	P D C Aサイクルのための取り組み平均実践項目数（監督職以上）（6項目中）（項目）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【企画調整課】	2.2	2.4	2.7	3.6	(横ばい)
評価	(状況) 数値は微増 (原因) 突発的な業務が多いなか、病休・育休者が非常に多く、マンパワーが足りていないことが一因と考えられる。					対前年度
						(横ばい)
						目標達成度
						(低)

## 基本事業01 P D C Aサイクルの実践

指標	人事評価における改善実践力の平均点（5点満点）（点）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【企画調整課】	2.97	3.01	2.99	3.30	(横ばい)
評価	(状況) 微減、ほぼ横ばい (原因) 業務多忙や人員不足による面もあるが、業務課題の洗い出しや業務改善の必要性への認識不足が要因と考えられる。					対前年度
						(横ばい)
						目標達成度
						(中)

## 基本事業01 P D C Aサイクルの実践

指標	事務事業の成果指標向上割合（対基準値）（％）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【企画調整課】	37.5	46.1	48.9	52.0	(向上)
評価	(状況) 事務事業の493成果指標の内、向上した指標が210、低下した指標が191、変化なし等が96となっている。 (原因) 参加者や利用者を成果指標としているものは、まだ回復していないが、それ以外については、社会活動がコロナ前に戻ってきていることの影響を受けて回復傾向にある。					対前年度
						(向上)
						目標達成度
						(高)

## 基本事業02 I C Tによる情報の適切な管理と利活用

指標	市のICTサービスを利用している市民の割合（％）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【企画調整課】	56.7	58.9	68.1	50.0	(向上)
評価	(状況) 目標値を達成している (原因) 市公式LINEの利用、住民票・印鑑証明書のコンビニ交付が加わったことで大きくポイントを伸ばしている。また、マイナンバーカードを使った申告も昨年度比2割程度伸びている。					対前年度
						(向上)
						目標達成度
						(達成)

**基本事業03 転入の促進と転出の抑制**

指標	転入者数（外国人含む）（人）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【企画調整課】	2,185	2,012	2,557	2,400	☀ (向上)
評価	(状況) 転入者は前年度と比較して大幅に増加した。( + 545人) (原因) 新型コロナウイルスの入国規制が緩和されたことによる技能実習生等の外国人の転入(入国)が増加したことに起因する。 国外からの入国(日本人含む)：前年度38人 469人					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						☑ (達成)

**基本事業03 転入の促進と転出の抑制**

指標	転出者数（外国人含む）（人）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【企画調整課】	2,200	2,056	2,316	2,300	☀ (向上)
評価	(状況) 転出者は前年度と比較して大幅に増加した。( + 260人) (原因) 新型コロナウイルスに伴う規制が緩和され、国内外の異動が活発となったことが要因と考えられる。					対 前年度
						☔ (低下)
						目 標 達 成 度
						■■■ (高)

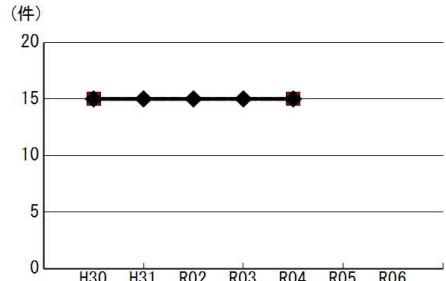


**基本事業03 転入の促進と転出の抑制**

指標	居留意欲度の県内順位（位）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【企画調整課】	16	9	16	7	☔ (低下)
評価	(状況) 全国順位も349位から545位へと急落した。 (原因) 順位の基準となる点数は、5.3点となり、前年度比 0.7ポイントとなった。また、県内他市の点数が上昇したことにより、筑後市の順位が下がった考えられる。					対 前年度
						☔ (低下)
						目 標 達 成 度
						■■ (低)

**基本事業04 広域連携の推進**

指標	広域行政（連携）によって効率的かつ効果的にまちづくりが進められていると思う職員の割合（％）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【企画調整課】	27.2	30.6	25.7	30.0	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度より約5%低下。職種：技術職が約14%、消防職が約10%低下。年代：30歳代が約11%、30歳未満が約3%低下。 (原因) 昨年度と全く逆に係長未満の数値が大きく低下していることから、業務に基づく具体的理由ではなく、若年層が感覚的に選択していると思われる。					対 前年度
						☔ (低下)
						目 標 達 成 度
						■■ (中)

**基本事業04 広域連携の推進**

指標	本市を含む地方公共団体の組合等で共同処理されている事務事業件数 (件)  【企画調整課】	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
			15	15	15	15
評価	(状況) 変化なし	(件) 				対 前年度
						 (横ばい)
					目 標 達成度	
					 (達成)	



政策 07 持続可能なまちづくり

施策 04 持続可能な財政運営

あるべき姿

将来世代に負担を先送りすることなく、将来にわたって持続可能な行財政構造が構築されている。

施策の成果状況と評価

指標	経常収支比率（％）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【財政課】	91.8	87.6	仮88.0	92.0	☀️ (向上)
評価	仮記述 (状況)前年度に比べて . ポイント低下したが、ほぼ横ばいとなった。 (原因)前年度に引き続き、市税収入が過去最高となり、経常一般財源収入が増加した。一方で物価高騰の影響等により経常経費充当一般財源額も増加し、成果指標としては横ばいの結果となった。					対 前年度
						☁️ (横ばい)
						🏰 (達成)

指標	財政調整基金残高（億円）（億円）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【財政課】	22.9	22.9	25.0	20.0	☁️ (横ばい)
評価	(状況)前年度から2億円増加した。 (原因)令和3年度の決算収支剰余金から、令和4年度に2億積み増しを行ったことが原因。当該2億円は、庁舎建設に向け基金創設した際、財政調整基金からの振替をしていた額と同額である。決算剰余が大きかったため、本来の残高水準まで戻した形となる。					対 前年度
						☀️ (向上)
						🏰 (達成)

指標	市の行政運営や税金の使い方に納得していない市民の割合（％）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【財政課】	8.4	6.7	8.2	10.0	☀️ (向上)
評価	(状況)前年度に比べ1.5ポイント低下 (原因)回答総数が減った数は、納得できる人が減少。納得できない数は大きく変わらず、相対的に割合が低下。昨年度と比較し女性での低下が特徴と思われ、生活に直結する物価高の影響が考えられる。 自由記述での「市立病院不正支出」に係る不満も特徴。					対 前年度
						☔️ (低下)
						🏰 (達成)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 税収等による歳入確保

指標	市税収納率[現年度分](%)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【税務課】	98.7	99.2	99.2	99.0	(横ばい)
評価	(状況)前年度と同率。 (原因)コロナウィルスの影響は顕著には見られない。収納率は前年度と同水準を維持している。また、物価上昇による経済状況は厳しいが、収納率には特段影響が見られていない。しかし、今後も適正徴収に努め収納率を維持向上する必要がある。					対 前年度
						(横ばい)
						目 標 達成度
						(達成)

## 基本事業01 税収等による歳入確保

指標	保育料の収納率(%)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【財政課】	98.4	98.7	99.6	99.0	(向上)
評価	(状況)前年度より0.9ポイント向上した。 (原因)滞納者には未納通知の発送や、電話催促、児童手当の窓口払いにより、確実な納付勧奨を行ってきた成果だと思われる。					対 前年度
						(向上)
						目 標 達成度
						(達成)

## 基本事業01 税収等による歳入確保

指標	住宅使用料の収納率(%)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【財政課】	99.9	100.0	100	98.5	(向上)
評価	(状況)昨年度に引き続き100%を達成した。 (原因)昨年度同様、滞納発生時に滞納者に対し、即時に電話連絡及び訪問を実施した。また、連絡が取れない滞納者に関しては、保証人と連携をとり対応することで本年度の結果となった。					対 前年度
						(横ばい)
						目 標 達成度
						(達成)

## 基本事業01 税収等による歳入確保

指標	道路水面占用料の収納率(%)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対 基準値
	【財政課】	99.6	99.6	99.5	99.4	(横ばい)
評価	(状況)昨年度より0.1ポイント低下した。 (原因)滞納対策として、訪問徴収や電話催促など、課を上げての取り組みを行った結果、昨年に引き続き高い徴収率の維持に至った。					対 前年度
						(横ばい)
						目 標 達成度
						(達成)

基本事業02 計画的な財政運営

指標	実質公債費比率(%)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【財政課】	8.1	8.4	仮8.5	9.0	☔ (低下)
評価	仮記述 (状況)前年度から . ポイント低下 (原因)前年度の傾向と同様に収入増に伴う標準財政規模の増大により、単年度の指標としては若干の改善。近年はほぼ同一水準で推移してきたため3年間の平均では若干の低下となった。					対前年度 ☁ (横ばい)
						目標達成度 🏰 (達成)

基本事業02 計画的な財政運営

指標	実質収支比率(%)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【財政課】	8.2	15.5	仮11.8	3.0	☀ (向上)
評価	仮記述 (状況)前年度に比較して3.7ポイント低下したが、目標値以上となった。 (原因)前年度に引き続き税金等の増加があったものの、交付税や臨財債発行可能額が減少し分母が小さくなり、庁舎建設基金への積み立てなど、繰越財源を活用した補正増を行ったことも加わり実績値としては低下。					対前年度 ☔ (低下)
						目標達成度 🏰 (達成)

基本事業03 公共施設等のマネジメント推進

指標	2022(令和4)年度までの施設(ハコモノ)の削減率(%)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【財政課】	3.4	3.4	5.9	2.5	☀ (向上)
評価	(状況)前年度比2.5%増の5.9%となった。 (原因)令和4年度は、筑恋邸の売却(213㎡)及び窓ヶ原体育館の除却(867㎡)が実現した。					対前年度 ☀ (向上)
						目標達成度 🏰 (達成)

基本事業03 公共施設等のマネジメント推進

指標	主要建物更新計画策定率(%)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【財政課】	100	100.0	100	100.0	☀ (向上)
評価	(状況)主要4施設(公営住宅、衛生センター、小中学校、サザンクス筑後)について個別施設計画策定し目標達成。 (原因)令和2年度をもって目標達成。					対前年度 ☁ (横ばい)
						目標達成度 🏰 (達成)

**基本事業03 公共施設等のマネジメント推進**

指標	公共建築物長寿命化計画に基づく（中・大規模）改修達成率（％）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
		【財政課】	69.2	100.0	95.2	80.0
評価	（状況）公共施設マネジメント委員会で認定した工事21件、予算化総額3,674,876千円に対し、1件、1,804千円（サンコア駐輪場整備工事）のみ予算化に至らなかった。 （原因）ロシア・ウクライナ情勢に起因するエネルギー価格高騰が予算要求枠を圧迫した結果、部内調整により工事の実施が見送られた。	(％) 				対前年度

**基本事業03 公共施設等のマネジメント推進**

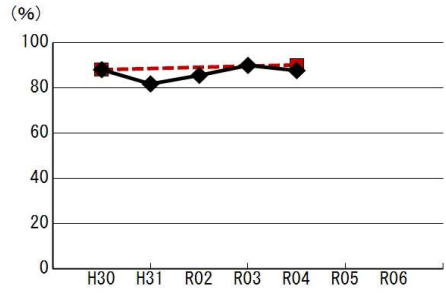


指標	庁舎建設基金残高（億円）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
		【財政課】	17	18	28	19
評価	（状況）令和4年度に1,005,062,639円の積立てを実施。基金残高は2,812,430,783円となった。 （原因）これまで処分せず繰り越してきた単年度収支黒字の処分の一環として、当初予定していた1億円に9億円を追加し積み立てたことによる。	(億円) 				対前年度

**政策 07 持続可能なまちづくり**

**施策 05 市民から信頼される職員・組織づくり**

あるべき姿

**施策の成果状況と評価**

指標	職員の仕事ぶりに満足している市民の割合（％）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
		【市長公室】	85.4	89.8	87.5	90.0
評価	市民アンケート結果より年代別では最も回答者の割合が多い40～64歳で2.6%低下。全体では前年度比2.3%低下。また、不満と回答した理由としては、職員の接遇・対応に関する意見が見受けられ、一部の職員に対する評価が全体へ影響を与えているものと思料される。					対前年度
						 (低下)
						目標達成度
						 (低)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 効率的かつ機能的な組織づくり

指標	市の組織は効率的かつ機能的になっていると思う職員の割合(%)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【市長公室】	71.3	79.7	70.2	67.0	☀️ (向上)
評価	前年度比9.5%低下。部署別に見ると市民生活部が18.5%低下、年齢別では30歳未満職員が32.1と最も低下した。また、職員の意見では人員不足に対する意見も多く、低下した要因の一つと考えられる。					対前年度
						☔️ (低下)
						目標達成度
						🏠 (達成)

## 基本事業01 効率的かつ機能的な組織づくり

指標	人口1万人当たり職員数（類似団体の平均値に対する割合）(%)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【市長公室】	64.7	64.6	65.4	65.0	☀️ (向上)
評価	前年度とほぼ横ばいの状況。限られた財源で市の課題を解決していくため、所属を超えた応援体制や会計年度任用職員を活用しつつ、特に重点事業に対し最適な組織機構と人員配置を行った。					対前年度
						☁️ (横ばい)
						目標達成度
						■ (中)

## 基本事業02 効果的な人材育成と適正な人事管理

指標	人材育成（諸施策）により職員の能力が向上していると思う職員の割合(%)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【市長公室】	54.8	63.3	51.7	55.0	☀️ (向上)
評価	前年度比11.6%低下。低下の明確な理由は分らないが、職員間における能力向上に努める意識の差や人材育成にかける時間的な余裕の無さが要因の一つと考えられる。					対前年度
						☔️ (低下)
						目標達成度
						■ (低)

## 基本事業02 効果的な人材育成と適正な人事管理

指標	職員全体の待遇が適切だと思う職員の割合(%)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【市長公室】	82.2	84.8	80.8	95.0	☀️ (向上)
評価	前年度比3.6%低下。低下した明確な理由は分らないが、職員の意見で見られたあいさつができない職員など、一部の職員の待遇が引き下げた要因の一つと考えられる。					対前年度
						☔️ (低下)
						目標達成度
						■ (中)

**基本事業03 健康で安全して働ける職場づくり**

指標	年次有給休暇（5日未満）・超過勤務（月45時間・年360時間超）・公務災害に該当した職員数（人）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【市長公室】	212	347	240	150	(横ばい)
評価	年休取得5日未満：47人 時間外月45時間超：159人 時間外年360時間超：31人 公務災害：3人 時間外については前年に比べ全体の人数は減少したものの、新型コロナウイルス関連事業対応（給付金事業など）、マイナンバー事業、選挙対応等により、特定部署では高止まりの状態となった。					対前年度
						(向上)
						目標達成度
						(低)

**基本事業03 健康で安全して働ける職場づくり**

指標	法令遵守が徹底されている職場になっていると思う職員割合（％）	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	対基準値
	【市長公室】	87.2	87.9	87.7	95.0	(向上)
評価	そう思わない職員の全体割合は12.4％であり、基準年（H30：18.9％）からは一定程度減少した。ただし、消防本部に限ると22.2％と全体より割合が高く複数年にわたって同様の傾向にあることから、要因の特定及び改善を図る必要がある。					対前年度
						(横ばい)
						目標達成度
						(低)